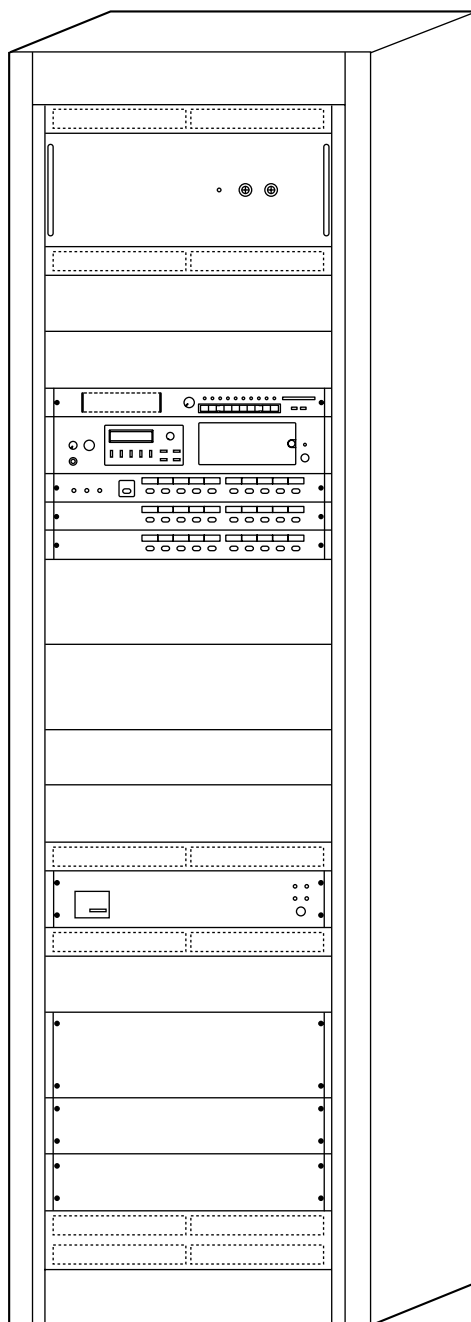


キャビネットラック型業務用放送設備

R シリーズ



R41-3630RD 型

業務用放送設備 R シリーズの機能を活用するためには、それぞれの目的に合わせた設定作業が必要です。
本放送設備を設置する前にこの工事説明書をよくお読みになり、納入するシステムをお客様と再確認した上で、P. 45 の「設定内容記録表」を作成した後に作業を実施してください。

目次

安全上のご注意	4
ニカド電池のリサイクルについて	6
ニカド電池の交換について	6
組み立てかた	
キャビネットラックの組み立てかた	7
各パネルユニットの組み込みかた	7
アンカーボルトの埋め込み	7
接続図	8
主要内部機器間の接続のしかた	
プリアンプパネル PP-025C の接続	9
パワーアンプパネル PA-630B/1230B/2440B/3640B の接続	10
パワーアンプパネルの消費電流一覧	11
非常電源パネル DS-029 の接続	12
非常電源パネル DS-029 に蓄電池を収納するとき	14
ジャンクションパネル JP-034 の接続	
後面端子台について	15
AC コンセントの接続	16
パワーアンプパネル消費電力一覧表	16
スピーカーセレクトパネル SS-014/015、増設用ジャンクションパネル JP-024 との接続	17
直流電源パネル AD-011 の接続	
非常電源パネル DS-029 がないときの接続	18
非常電源パネル DS-029 が組み込まれているときの接続	19
モニターパネル MP-011 の接続	20
外線および外部機器の接続	
AC100 V 電源の接続	22
サーキットブレーカーの取り付けかた	22
スピーカーの接続	
スピーカーと音量調節器の接続	23
業務用リモートマイク RM-1100 / 予備制御の接続	
配線距離と使用電線	24
ジャンクションパネル JP-034 の端子説明	24
スピーカー回線の接続	25

タイマー機器の接続	26
非常断 24 V の接続	
業務用放送設備に停電補償機能がないとき （非常電源パネル DS-029 が収納されていないとき）	27
業務用放送設備に停電補償機能があるとき	28
電源分配パネル PD-022 との接続	29
システムの設定について	
設定内容	
一斉放送時の通常モード／緊急モードの設定	30
プリアンプパネル PP-025C 制御の連動モード／非連動モードの設定	30
スピーカーセクターパネル SS-014/015 と 業務用リモートマイク RM-1100／予備制御間の優先レベルの設定	30
優先放送時のプリアンプの入力信号カットの設定	30
グループ放送の設定	31
設定のしかた	
JP-034/024 の内部の開けかた	32
一斉放送時の通常モード／緊急モードの設定	
タイマー起動時	34
スピーカーセクターパネル SS-014/015 起動時	34
業務用リモートマイク RM-1100／予備制御起動時	34
業務用リモートマイク RM-1200 起動時	34
プリアンプ制御の連動モード／非連動モードの設定	35
本体と業務用リモートマイク RM-1100／予備制御間の優先レベルの設定	35
優先放送時のプリアンプの入力信号カットの設定	36
グループ放送の設定	36
ダイオードマトリクスボードキット DB-014 の組み立てかた	37
DB-014 の組み込みかた	
SS-014 への組み込み（本体のグループ放送設定）	39
JP-034 への組み込み（業務用リモートマイク RM-1100／予備制御機器のグループ放送設定）	42
設定内容記録表	45

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保存してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号	行為を強制する記号
 分解禁止	 強制
 禁止	



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。



禁止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせないでください。
火災・感電の原因となります。



禁止

万一、異常が起きたら

次の場合、電源スイッチを切り、電源ブレーカーを遮断して販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落したり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）
- 音が出ないとき



強制

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となることがあります。



禁止

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。

火災・感電の原因となることがあります。



禁止

ニカド電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。

守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れたりしない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- (＋)と(－)に注意し、表示どおり正しく入れる。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。



強制

ニカド電池のリサイクルについて



ニカド電池のリサイクルにご協力ください

本機にはニカド電池を使用しています。

ニカド電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。

ニカド電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

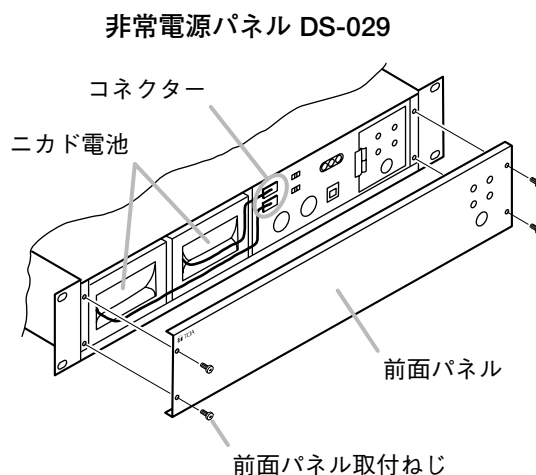
使用済みのニカド電池は、捨てないで、お買い上げ店または当社営業所へ返却してください。

ニカド電池の交換について

⚠ 注意

- ニカド電池を、ショート・分解・加熱・火の中に入れるなどしないでください。
- 取り出したニカド電池は、ショート防止のために、端子に絶縁テープを貼るなどの対策を行ってください。
- 乾電池など、ニカド電池以外の電池を混入しないでください。
- ニカド電池を交換するときは、下表に指定したものをご使用ください。

ニカド電池	蓄電池容量
NDC-2435	3.5 Ah
NDC-2460	6 Ah



1 蓄電池のコネクターを取り外す。

2 蓄電池収納スペースから蓄電池を取り外す。

組み立てかた

■ キャビネットラックの組み立てかた

キャビネットラックに付属の工事説明書に従って組み立ててください。

■ 各パネルユニットの組み込みかた

ご注意

- キャビネットラックへの組み込みは、設定などの作業を事前に行った上で実施してください。
- 以下のパネルには、別売品の組み込みや放送状態の設定などが必要な場合があります。

・ジャンクションパネル	JP-034	・プリアンプパネル	PP-025C
・増設用ジャンクションパネル	JP-024	・スピーカーセクターパネル	SS-014
・リモートマイクインターフェースパネル	RF-011		
- 各パネルの別売品の組み込みや放送状態の設定などについては、P. 32「設定のしかた」をお読みください。ただし、プリアンプパネル PP-025C およびリモートマイクインターフェースパネル RF-011 については、付属の取扱説明書をお読みください。

● キャビネットラックへの各パネルの取り付け作業

右図のように、ラック前面を上向きに置いて行うのが容易で安全です。

● ジャンクションパネルの取り付け

ジャンクションパネル JP-034 は、スペースに余裕があるときキャビネットの最下段にパーフォレイテッドパネル PF-023B を取り付け、その上段に取り付けてください。外線との接続が容易に行えます。

増設用ジャンクションパネル JP-024 が必要なときは、JP-034 の下段に取り付けてください。

● パワーアンプパネルおよび非常電源パネルの取り付け

放熱のため、上下にパーフォレイテッドパネル PF-013B を取り付けてください。

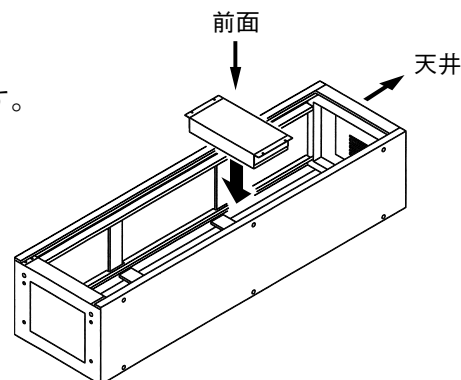
また、積み重ねての取り付けは2台までにしてください。3台以上を積み重ねて使用するときは、パーフォレイテッドパネル PF-013B を間にして取り付けてください。ただし、240 W と 360 W のパワーアンプパネルは、発熱量が大きいので、積み重ねて取り付けないでください。

● モニターパネルの取り付け

パワーアンプパネルの真上または真下には取り付けしないでください。

● プリアンプパネルおよびスピーカーセクターパネルの取り付け

操作しやすい位置に取り付けてください。

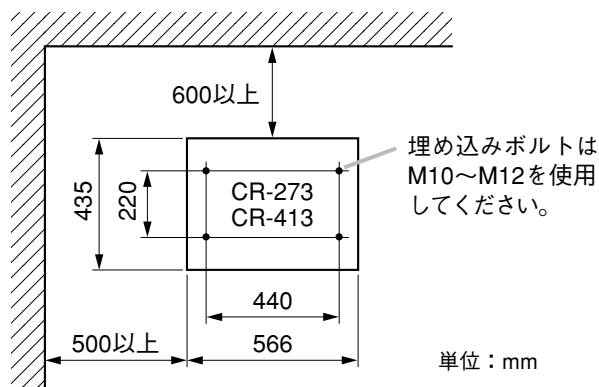


■ アンカーボルトの埋め込み

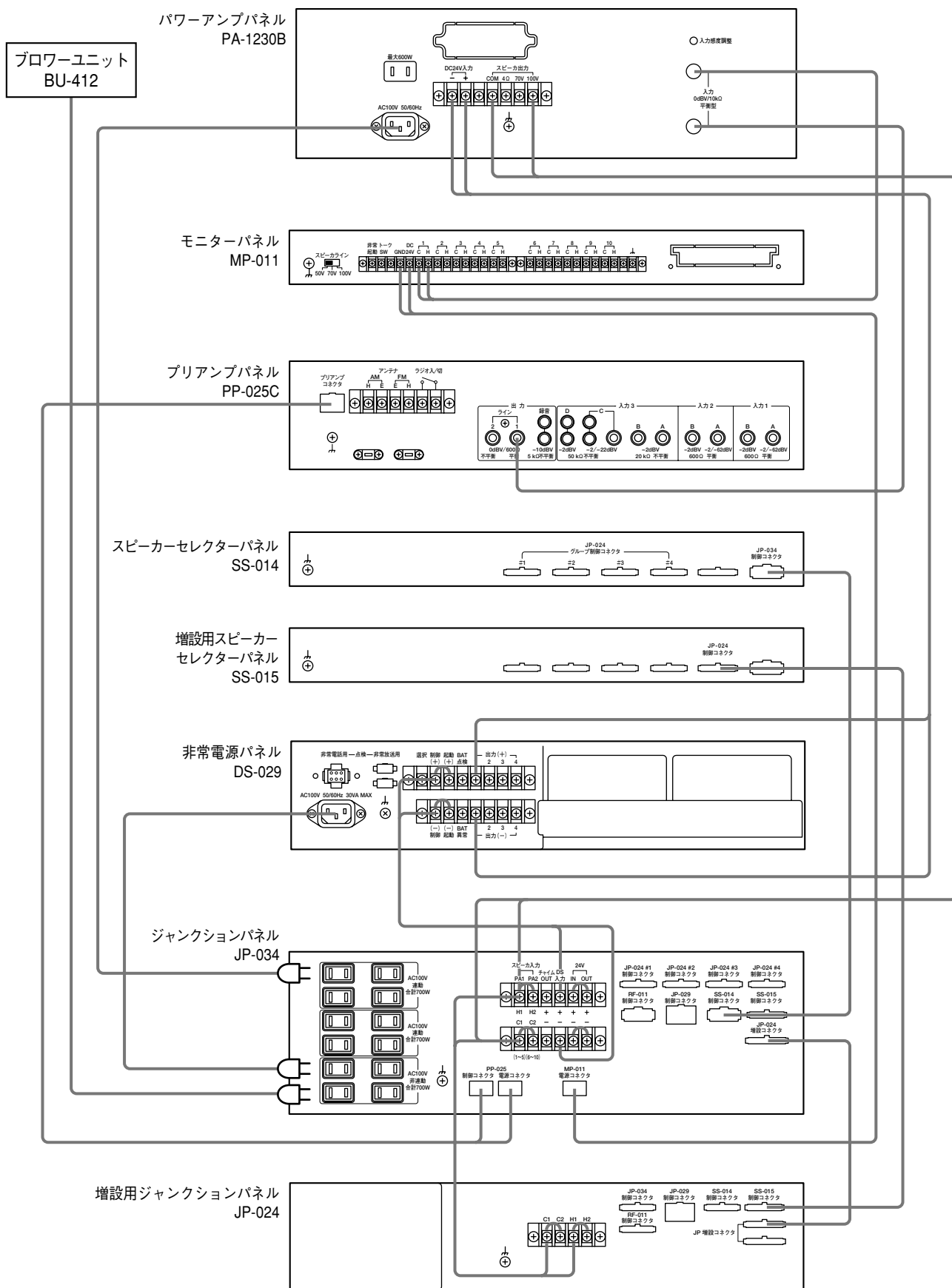
キャビネットラック CR-413/273 は、地震などによる転倒防止のため、アンカーボルト4本を使って床面に固定してください。

キャビネットラックを固定する場合は、右図を参考に埋め込みボルトを設けてください。

ラックの後面および側面は保守点検を容易にするため、後面は壁から 600 mm 以上、側面は 500 mm 以上離して設置してください。



接続図

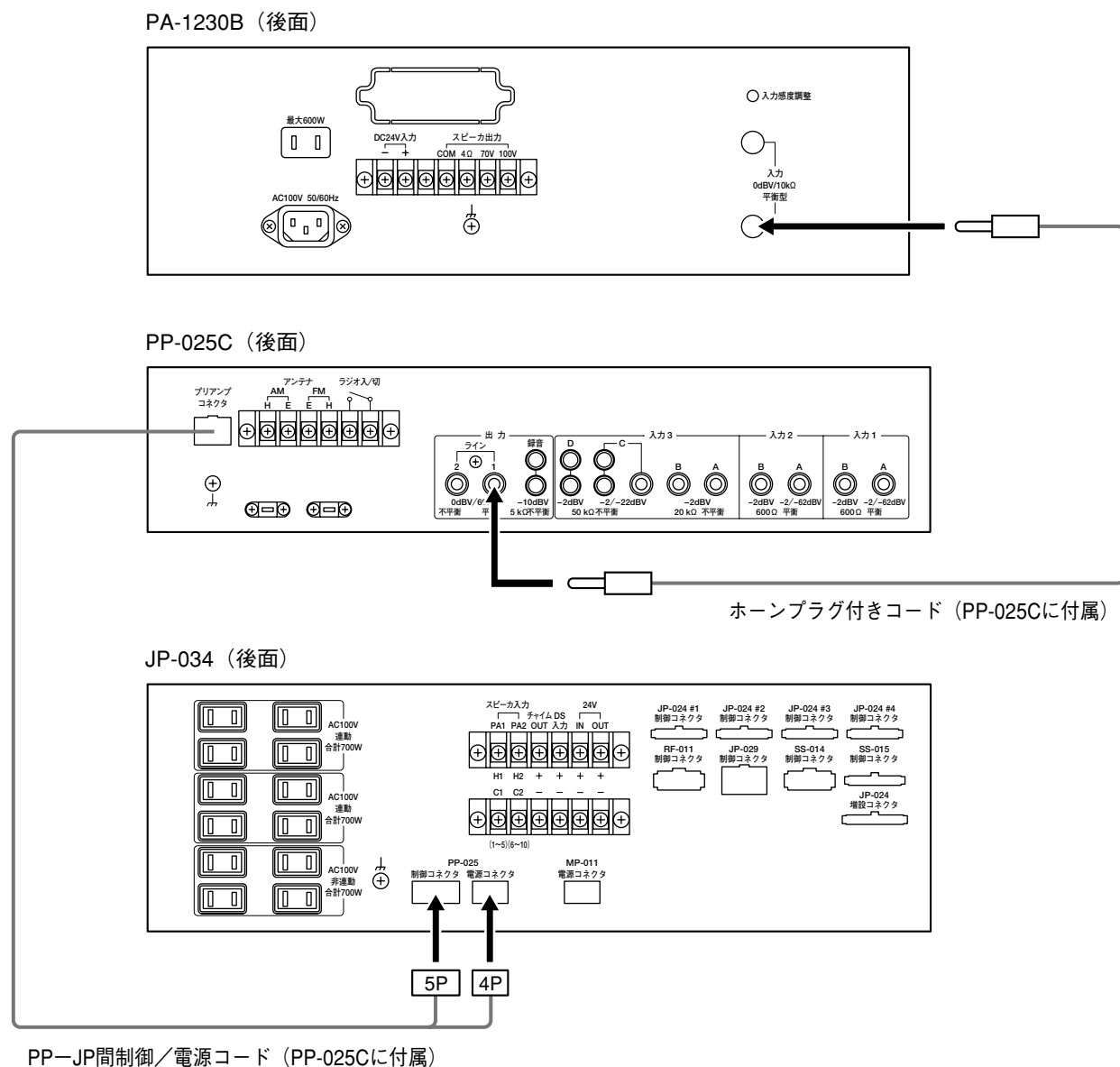


※ 各パネルの後面には GND 端子を設けています。圧着端子を使って接続するときは、JIS C2805 の呼び 1.25-4 のものを使用してください。

主要内部機器間の接続のしかた

■ プリアンプパネル PP-025C の接続

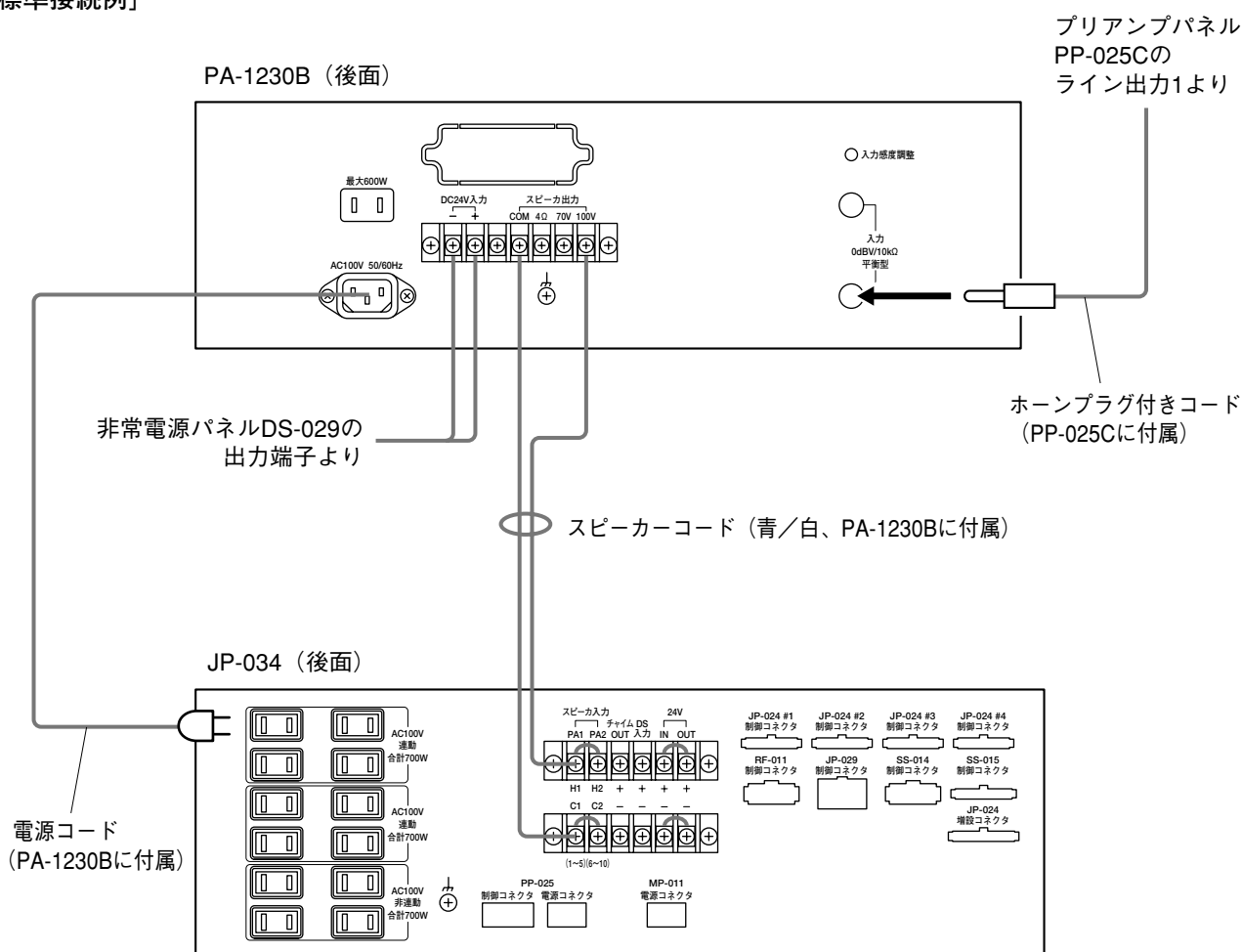
- プリアンプパネルには、ラジオチューナーユニットを組み込むことができます。
組み込みかたなど詳しくは、プリアンプパネルに付属の取扱説明書をお読みください。
- 入力1-Aの入力ジャックは、前面パネルと後面パネルのいずれにも設けられています。両方に接続した場合は前面パネル側の放送になります。
- 入力1は入力2、3より、また入力2は入力3より優先されて出力されます。
BGM演奏機器は入力3に接続し、マイク、チャイムなどは優先度に応じ入力1または2に接続します。
減衰量は前面パネル内のミュートボリュームで調節してください。
優先制御は制御コネクターからの外部制御または入力信号のレベルにより制御されます。入力信号のレベルによる場合、入力信号の音量が小さいと有効に優先制御が働かないことがあります。この場合はジャンクションパネルJP-034からの外部制御を使用してください。
外部制御による方法は、P. 32「設定のしかた」をお読みください。
- ライン出力2は入力3専用の出力端子で、BGM系統とマイク系統を分離し、多元放送を行うときに使用します。



■ パワーアンプパネル PA-630B/1230B/2440B/3640B の接続

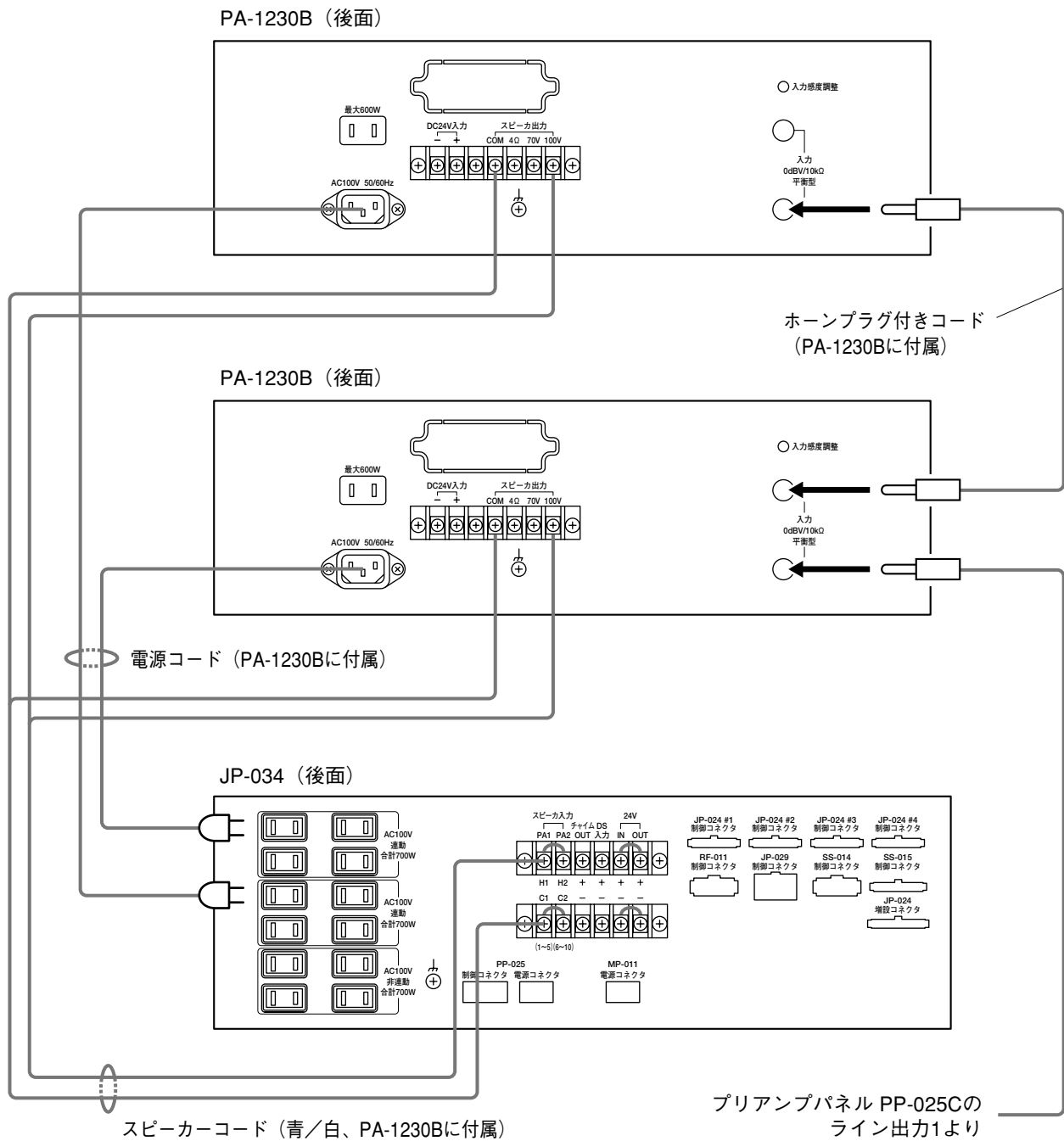
- スピーカー出力には、50 V (PA-2440B のみ)、70 V、100 V のいずれかの端子を使用してください。
ラック型放送設備の場合は、4 Ω 出力端子は使用しないでください。
- パワーアンプパネルの並列運転の接続は、同じ出力ライン電圧を使用してください。
同機種で3台まで並列運転できます。
- ジャンクションパネル JP-034 のスピーカー入力端子の H1・C1 はジャンクションパネル前面端子台のスピーカー回線1～5に、H2・C2 はスピーカー回線6～10に対応しています。
工場出荷時は、H1-H2間、C1-C2間はジャンパー線で短絡されています。
並列運転をせずに、H1・C1とH2・C2を分離して使用するときはジャンパー線を外してください。
- 各パワーアンプの消費電力については、次ページの表をお読みください。

[標準接続例]



- パワーアンプパネルの電源プラグは、JP-034 の連動コンセントに差し込んでください。
- スピーカーコードは必要な長さに切断して使用してください。

[並列運転時の接続例]



- パワーアンプパネルの電源プラグは、JP-034 の連動コンセントに差し込んでください。
- スピーカーコードは必要な長さに切断して使用してください。

● パワーアンプパネルの消費電流一覧

機種	電気用品安全法による 消費電力	定格出力時の消費電力	
		AC 動作	DC 動作
PA-630B	72 W (102 VA)	164 W (199 VA)	114 W (4.3 A)
PA-1230B	127 W (176 VA)	303 W (362 VA)	200 W (7.6 A)
PA-2440B	206 W (280 VA)	572 W (661 VA)	396 W (15 A)
PA-3640B	232 W (336 VA)	700 W (840 VA)	520 W (19.7 A)

■ 非常電源パネル DS-029 の接続

内蔵するニカド電池は別売です。使用するパワーアンプパネルの出力（W）と台数から、蓄電池の容量と台数を選択し、DS-029に組み込んで接続してください。

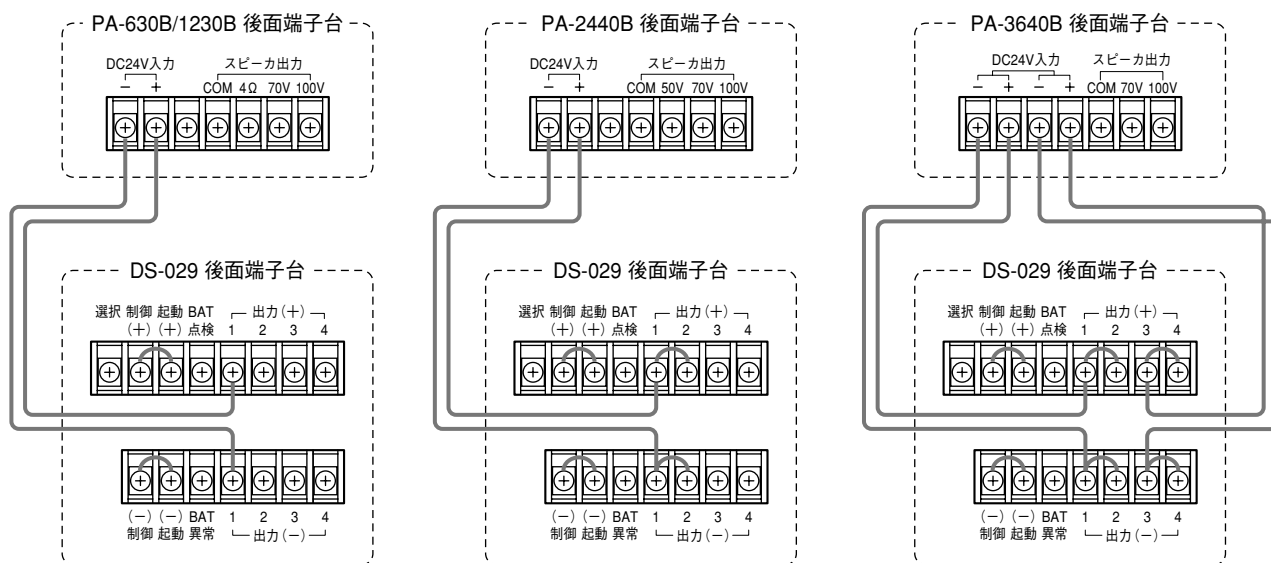
蓄電池の容量と台数の選択のしかたは、下表を参考にしてください。

〔選択表〕

総出力	パワーアンプパネル	DS-029 台数	NDC-2435 台数	NDC-2460 台数
60 W	PA-630B	1	1	—
120 W	PA-1230B	1	1	—
240 W	PA-2440B	1	—	1
360 W	PA-3640B	1	—	2
480 W	PA-2440B × 2 台	1	—	2
720 W	PA-3640B × 2 台	2	—	4
1080 W	PA-3640B × 3 台	3	—	6
1440 W	PA-3640B × 4 台	4	—	8
1800 W	PA-3640B × 5 台	5	—	10

上表の組み合わせによる設置のとき、停電後、約10分間の放送（本体マイク放送、リモコンからのマイク放送など）をすることができます。ただし、AC100 Vで動作しているBGMプレーヤーなどは停電と同時に動作を停止するのでBGM放送なども停止します。

- 非常電源パネルとパワーアンプパネルのDC電源は、下図のように接続してください。



〔PA-630B/1230Bのとき〕

1台のDS-029に対して、4台のパワーアンプパネルが接続できます。

〔PA-2440Bのとき〕

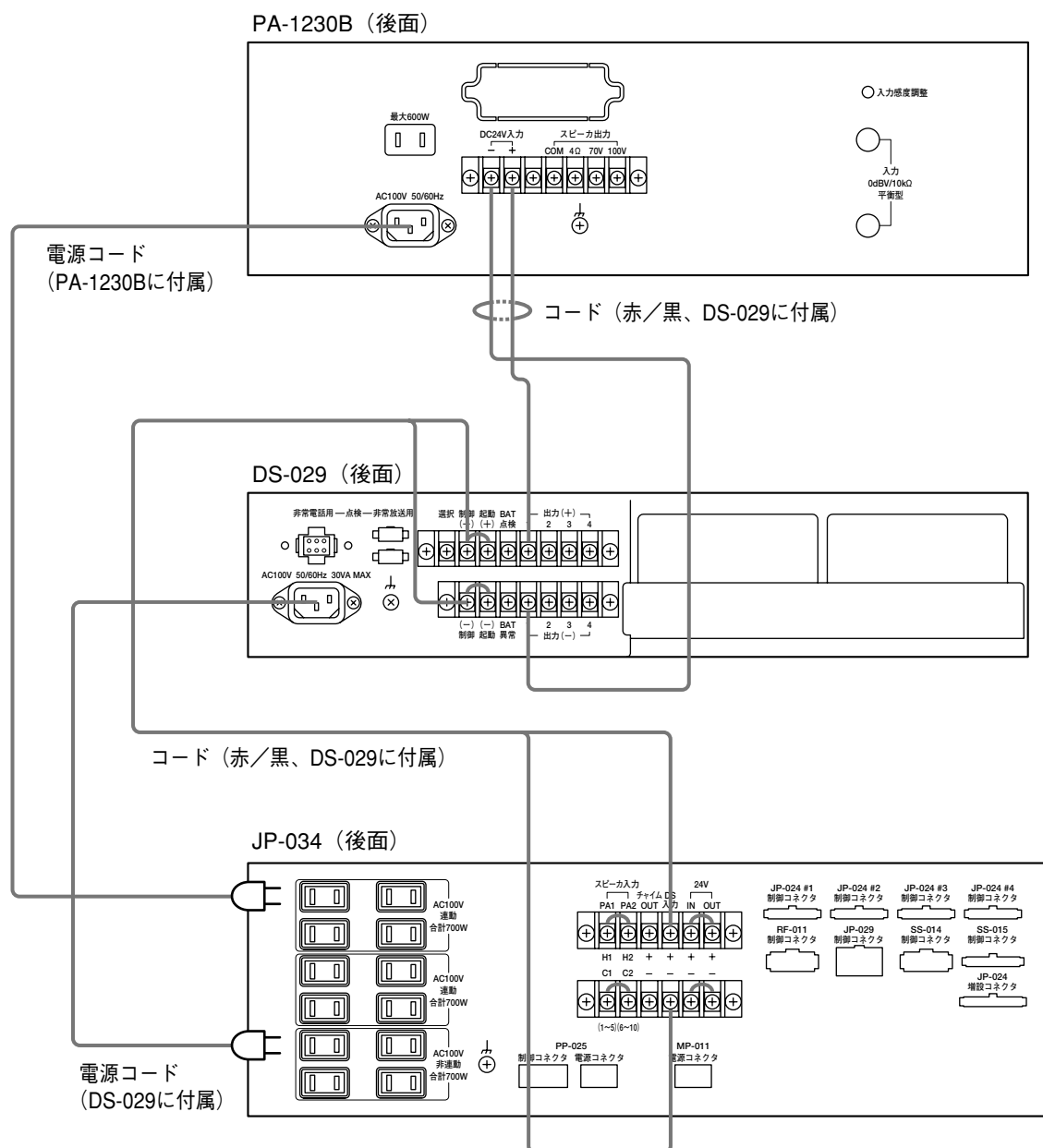
1台のDS-029に対して、2台のパワーアンプパネルが接続できます。
出力1、2（3、4）を並列に接続してください。

〔PA-3640Bのとき〕

1台のDS-029に対して、1台のパワーアンプパネルが接続できます。
出力1、2を並列にしてPA-3640Bの一方のDC24V入力端子に、同じく出力3、4を並列にしてもう一方のDC入力端子に接続してください。

- 接続線は、DS-029に付属のコード（赤/黒）を必要な長さに切断して使用してください。
- 端子台の選択端子、BAT点検/異常端子、および点検コネクタ（非常電話用/非常放送用）は使用しません。

[接続例]



- 非常電源パネルDS-029の電源プラグは、内蔵蓄電池の充電のため必ず常時AC100 Vを供給できるように、ジャンクションパネルJP-034の「非連動」のコンセントに差し込んでください。
- ジャンクションパネルJP-034への停電時のDC24 Vの供給線は、次のように接続してください。
 - ・ DS-029の制御端子(＋、－)と、JP-034のDS入力端子(＋、－)を接続します。
 - ・ DS-029の制御端子と起動端子の＋と＋、－と－を短絡します。
- DS-029を複数台設置するときは、JP-034のDS入力端子には1台のDS-029だけ接続し、残りのDS-029と接続する必要はありません。
- 接続線は、DS-029に付属のコード(赤/黒)を必要な長さに切断して使用してください。

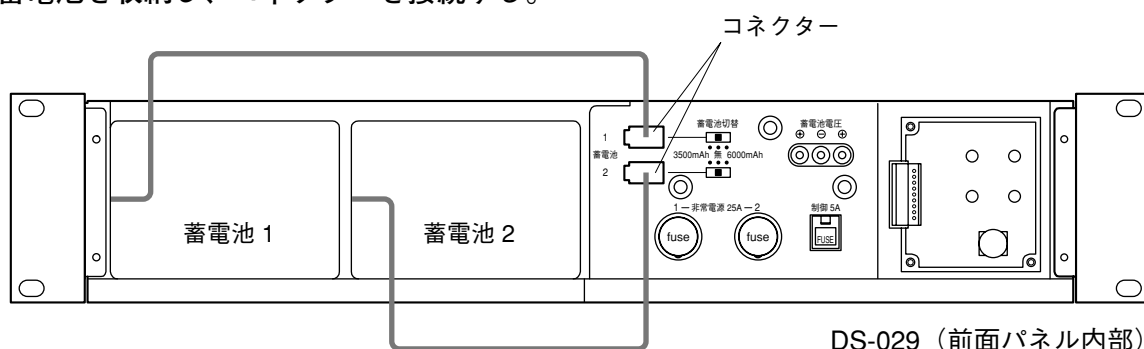
■ 非常電源パネル DS-029 に蓄電池を収納するとき

1 前面パネルの取付ねじおよびワッシャを外して、パネルを取り外す。(下図 ➡ 印)

DS-029 (前面)

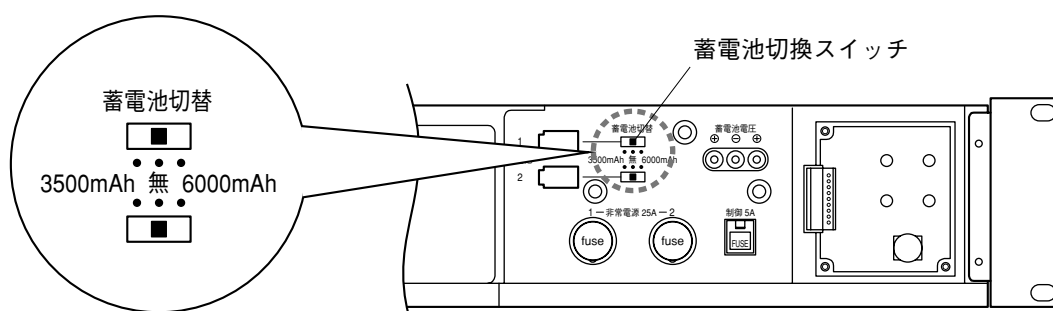


2 蓄電池を収納し、コネクターを接続する。



3 蓄電池切替スイッチで、蓄電池の設定をする。

- NDC-2435 を接続するとき → 「3500 mAh」 に設定
- NDC-2460 を接続するとき → 「6000 mAh」 に設定
- 蓄電池を使用しないとき → 「無」 に設定



4 前面パネルを元どおりに取り付ける。

※ 蓄電池 1 の DC 出力は後面の出力端子 1、2 に、蓄電池 2 は出力端子 3、4 にそれぞれ出力されます。

■ ジャンクションパネル JP-034 の接続

● 後面端子台について

[スピーカー入力端子]

- パワーアンプパネル PA-630B/1230B/2440B/3640B 後面のスピーカー出力端子を接続します。
入力端子 H1・C1 は JP-034 前面端子台のスピーカー回線 1～5 に、H2・C2 はスピーカー回線 6～10 に対応しています。工場出荷時は、H1-H2 間、C1-C2 間はジャンパー線で短絡されています。
- パワーアンプパネルを並列運転せずに H1・C1 と H2・C2 を分離して使用するときはジャンパー線を外してください。

[チャイム OUT 端子]

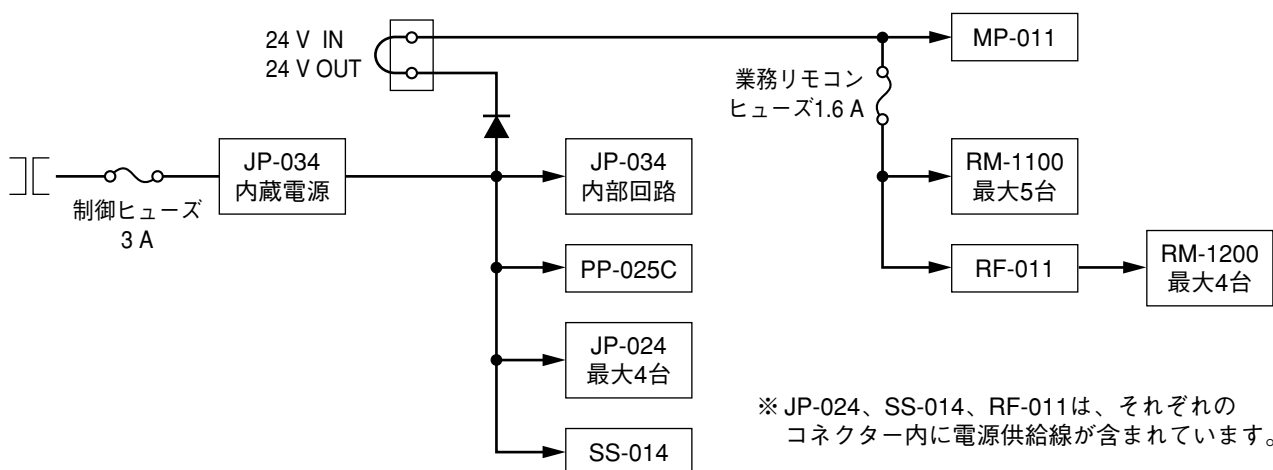
- プリアンプパネル PP-025C の内蔵チャイムユニットを使用しないでメロディクスなどのチャイムを使用するときに使用します。この場合、内蔵チャイムの音量は「0」にしてください。
- リモートマイクロホン RM-1100/1200 *が放送中のとき、チャイムスイッチを押すと、この端子に信号が出力されます。（* RM-1200 は外部チャイムを使用するときのみです。）

[DS 入力端子]

- 停電時に、DC24 V を JP-034 に供給するための端子です。
非常電源パネル DS-029 を組み込んだとき、DS-029 の制御端子（＋、－）と接続します。

[24 V IN/OUT 端子]

- JP-034 内蔵の DC24 V 電源容量は最大 1.5 A です。他の接続機器（主に PP-025C、MP-011）、局数、接続するリモートマイクロホンの台数（RM-1100 と RM-1200）によって電源容量が不足するときは、直流電源パネル AD-011 を 24 V IN 端子に接続します。
- 工場出荷時は、IN、OUT 端子間にジャンパー線を接続しています。直流電源パネルを使用するときはジャンパー線を外してください。



● AC コンセントの接続

キャビネットラックに収納されている各機器の AC 電源は、ジャンクションパネル JP-034 から供給されます。

「非連動」コンセントには、常時 AC100 V が供給されます。

パワーアンプ以外の AC100 V で動作する機器類（非常電源パネル、タイマー、メロディクス、BGM プレーヤーなど）は、このコンセントに接続してください。

「連動」コンセントには、プリアンプの電源スイッチが「入」のとき、またはいずれかの機器でスピーカー回路選択が行われたときに AC100 V が供給されます。

パワーアンプパネル PA-630B/1230B/2440B/3640B は、「連動」コンセントに接続してください。

「連動」と「非連動」コンセントが不足するときは、別途、電源分配パネル PD-022 を組み込んでください。

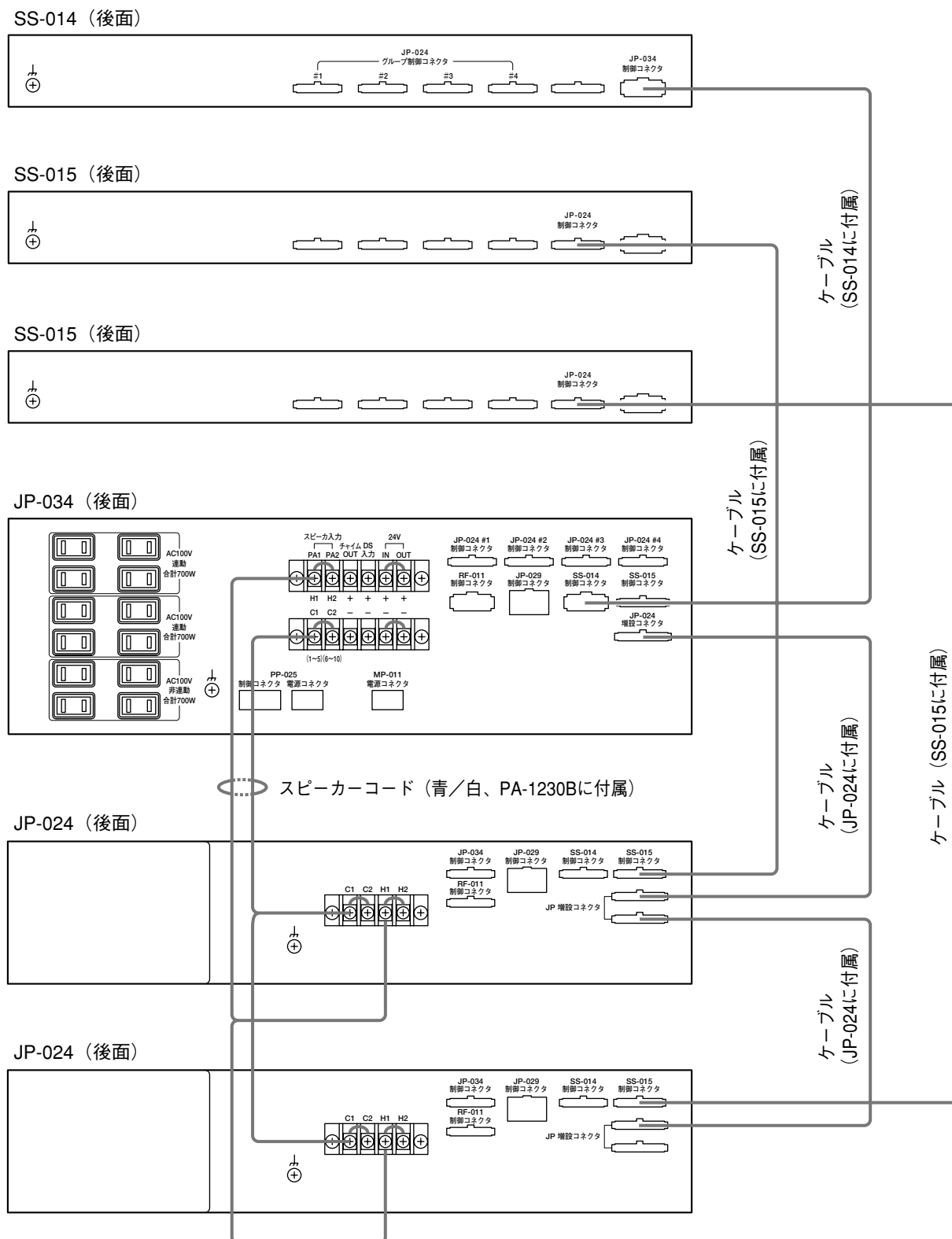
各コンセントに接続するときは、最大許容電力を厳守してください。JP-034 後面のコンセントは 4 個ごとのブロックで最大 700 W の制限がありますのでご注意ください。

● パワーアンプパネル消費電力一覧表

機 種	電気用品安全法による消費電力	定格出力時の消費電力
PA-630B	72 W (102 VA)	164 W (199 VA)
PA-1230B	127 W (176 VA)	303 W (362 VA)
PA-2440B	206 W (280 VA)	572 W (661 VA)
PA-3640B	232 W (336 VA)	700 W (840 VA)

● スピーカーセレクトパネル SS-014/015、増設用ジャンクションパネル JP-024 との接続

[30局システムの接続例]



■ 直流電源パネル AD-011 の接続

ジャンクションパネル JP-034 の内蔵電源容量は、最大出力電流 1.5 A です。
接続する各パネルとリモートマイクなどの台数により、それらの消費電流の合計が 1.5 A を超えるときは直流電源パネル AD-011 が必要です。
下表を参考に、設置するシステムの消費電流の合計が 1.5 A を超えるときは、直流電源パネルを接続してください。

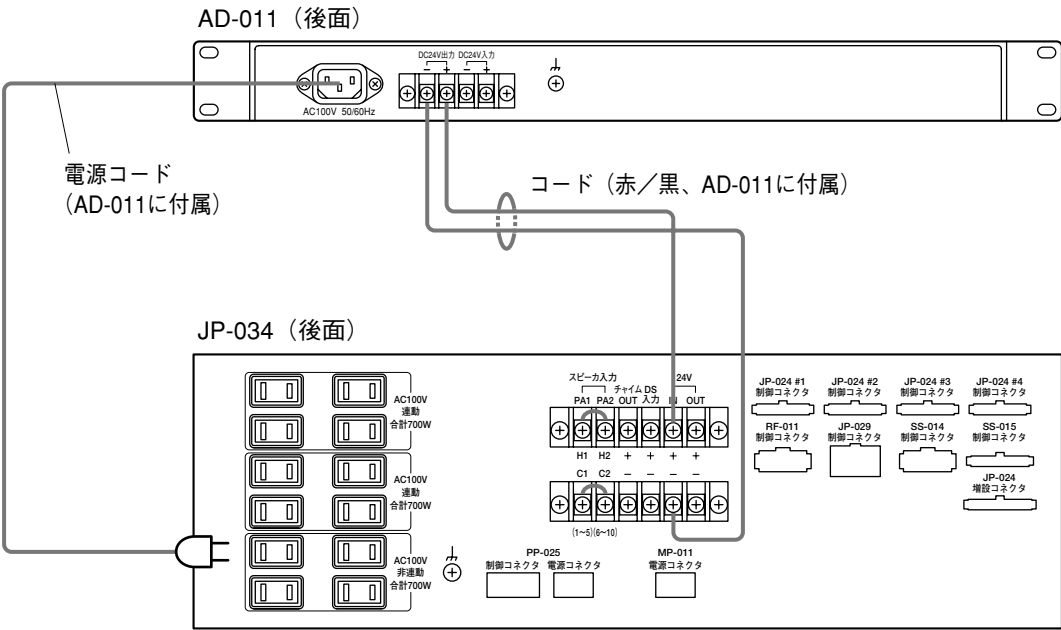
[各接続機器の消費電流一覧表 (DC24 V 動作時)]

品 名 / 品 番		台数	電流 / 1 台	備 考
ジャンクションパネル	JP-034	1	0.3 A	内部回路の消費電流
増設用ジャンクションパネル	JP-024	最大 4	0.22 A	
スピーカーセレクトターパネル	SS-014	1	0.01 A	
プリアンプパネル	PP-025C	1	0.25 A	ラジオチューナユニット DT-230 組み込み時
プリアンプパネル	PP-025C	1	0.07 A	
業務用リモートマイク	RM-1100	最大 5	0.13 A	
業務用リモートマイク	RM-1200	最大 4	0.13 A	RF-011 を介して電源供給されます。
リモートマイクインターフェースパネル	RF-011	1	0.2 A	
モニターパネル	MP-011	1	0.4 A	

※ 直流電源パネル AD-011 の最大電流容量は 2.5 A です。

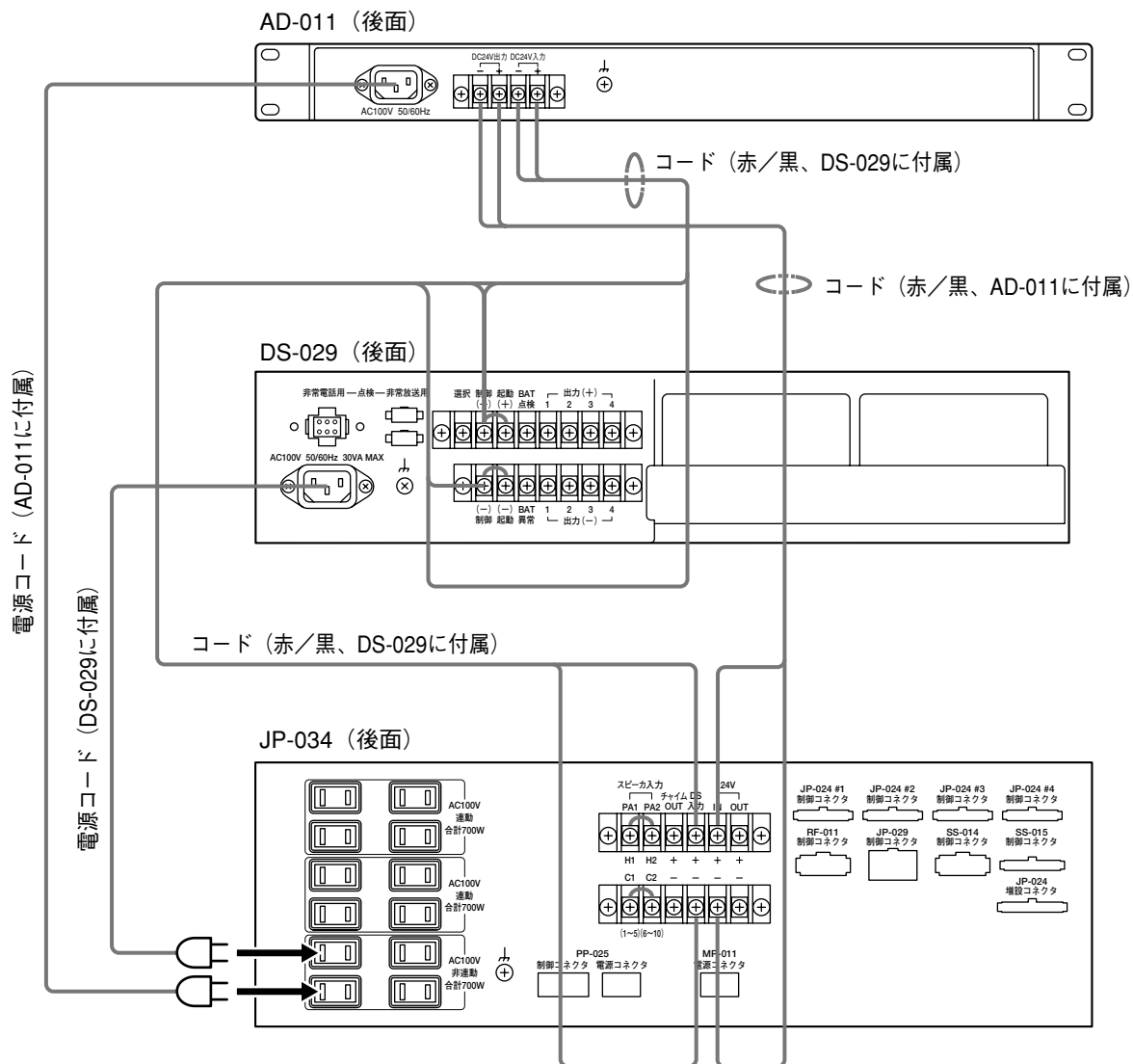
● 非常電源パネル DS-029 がないときの接続

- ・ JP-034 後面端子台の 24 V IN/OUT 間のジャンパー線（十側と一側の 2 本）を取り外して接続してください。
- ・ AD-011 の電源プラグは、JP-034 の「非連動」コンセントに接続してください。



● 非常電源パネル DS-029 が組み込まれているときの接続

- ・ JP-034 後面端子台の 24 V IN/OUT 間のジャンパー線（十側と一側の 2 本）を取り外して接続してください。
- ・ DS-029 を複数台設置するときは、任意の 1 台のみを下図のように接続してください。
- ・ AD-011 および DS-029 の電源プラグは、JP-034 の「非連動」コンセントに接続してください。
- ・ 接続線は、DS-029 に付属のコード（赤／黒）を必要な長さに切断して使用してください。



■ モニターパネル MP-011 の接続

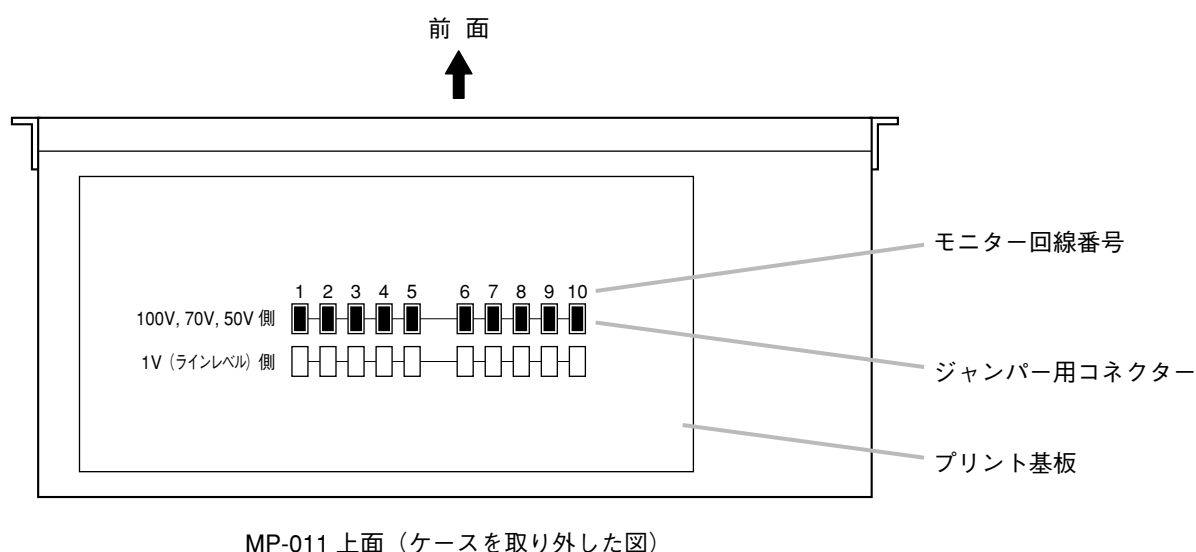
モニターパネルの10回路の入力は、内部のジャンパーコネクターの差し換えにより、個々にスピーカー出力のモニターとラインモニターを選択することができます。

※ 工場出荷時は、すべての回路がスピーカー出力のモニターに設定されています。

ラインモニターに設定するときは、次のようにしてください。

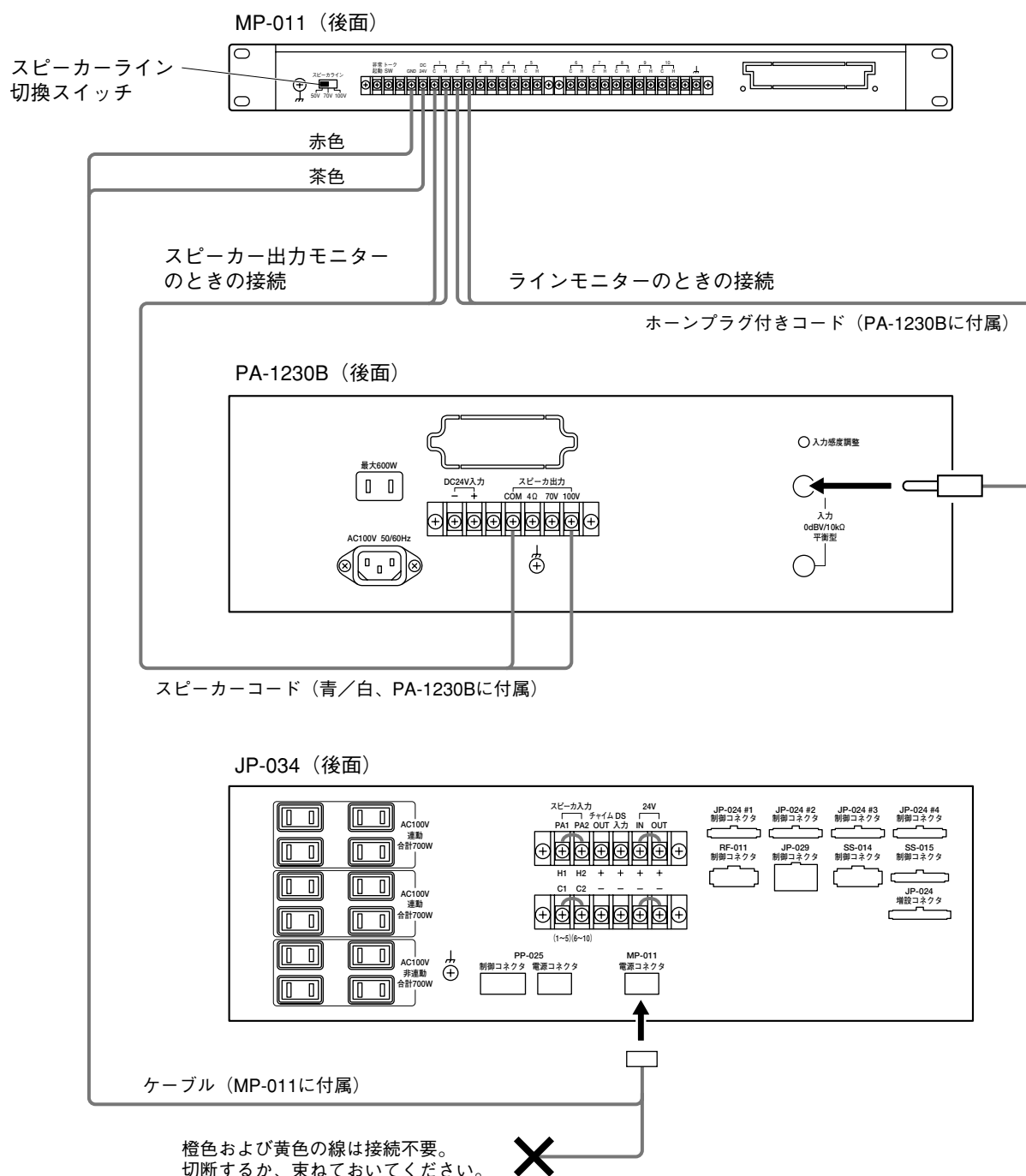
ご注意 以下の作業はモニターパネルをキャビネットラックに収納する前に実施してください。

- 1 天板の取付ねじ7本を外して、天板を取り外す。
- 2 変更したい回線のジャンパー用コネク터를「100 V/70 V/50 V」側から「1 V」側に差し換える。
※ 工場出荷時は、すべて「100 V/70 V/50 V」側に設定されています。



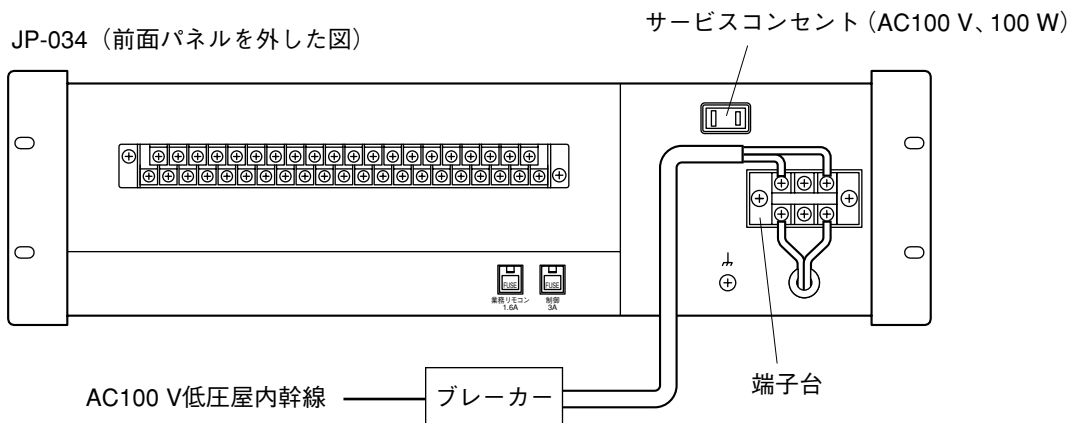
- 3 天板を元どおりに取り付ける。

- MP-011 に付属のコネクター付きケーブル（4P）で電源線を接続します。
ジャンクションパネル JP-034 後面の MP-011 電源コネクタと、MP-011 後面端子台の DC24 V/GND を接続します。茶色の線を DC24 V に、赤色の線を GND にそれぞれつないでください。
このとき、コネクター付きケーブルの橙色と黄色の線は不要のため、切断するか束ねておいてください。
- スピーカー出力モニターのときの接続は、パワーアンプパネル PA-630B/1230B/2440B/3640B 後面端子台のスピーカー出力端子に直接接続します。このとき、スピーカー出力ラインに合わせて MP-011 後面のスピーカーライン切換スイッチを設定します。
ご注意 入力回路ごとのスピーカーラインの切り換えはできません。
- ラインモニターのときの接続は、パワーアンプパネルに付属のホーンプラグ付きコードの片方のプラグを切断し、心線（白色）を H に、シールド線を C に接続してください。
- MP-011 後面端子台の非常起動端子およびトーク SW 端子は使用しません。



外線および外部機器の接続

■ AC100 V 電源の接続



ジャンクションパネル JP-034 の左右にあるねじ (M3) 4 本を外して、前面パネルを取り外します。
JP-034 右側の端子台 (3P) のカバーを外して、上側端子に電源線を接続します。
接続後は、感電防止のためカバーを元どおりに取り付けてください。電源線は、放送設備の消費電力に応じた容量のものを選んでください。

■ サーキットブレーカーの取り付けかた

ジャンクションパネル JP-034 は、標準装備の 3P 端子台の代わりにサーキットブレーカー (30 A) を取り付けることができます。

用意するもの	サーキットブレーカー 30 A (当社部品番号 115-16-054-5) 1
--------	---

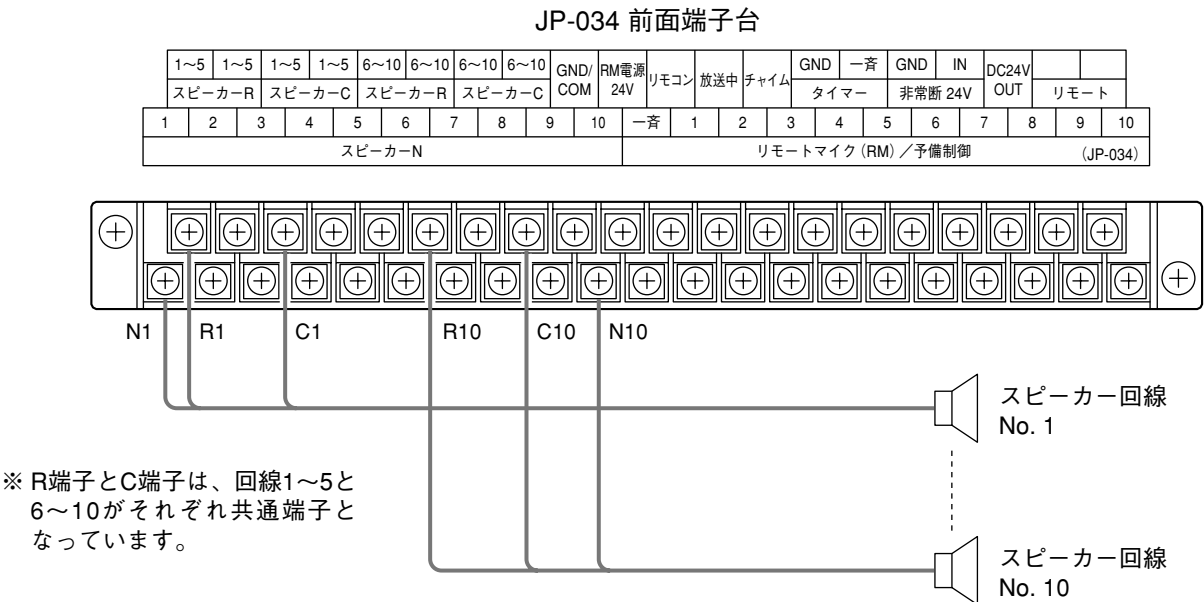
- 1 3P 端子台に接続されている JP-034 の内部からのケーブルを外す。
- 2 3P 端子の左右のねじ 2 本を外して、端子台を取り外す。
- 3 ブレーカーに付属されているねじ (2 本) を使って、ブレーカーを取り付ける。
- 4 JP-034 の内部からのケーブルと、AC100 V 電源線をブレーカーに接続する。
- 5 接続後は感電防止ため、ブレーカーに付属のカバーを取り付ける。



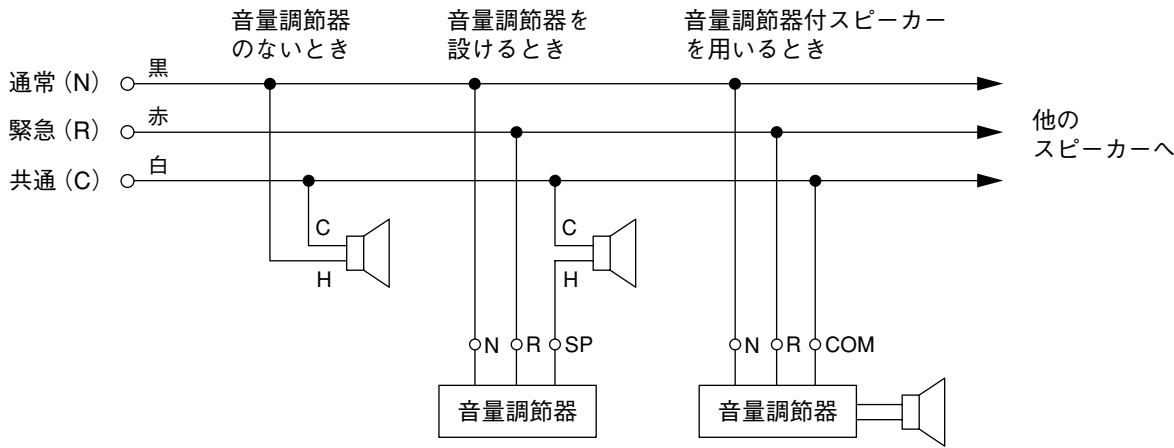
スピーカーの接続

スピーカの接続は、下図のようにN、R、Cの各端子と接続してください。（音量調節器を取り付けないときは、R線が省けます。）増設用ジャンクションパネルJP-024も同様に接続します。

1回線あたりの容量は200 W までです。200 W を超えるときは、2回線以上に分けてください。



スピーカーと音量調節器の接続

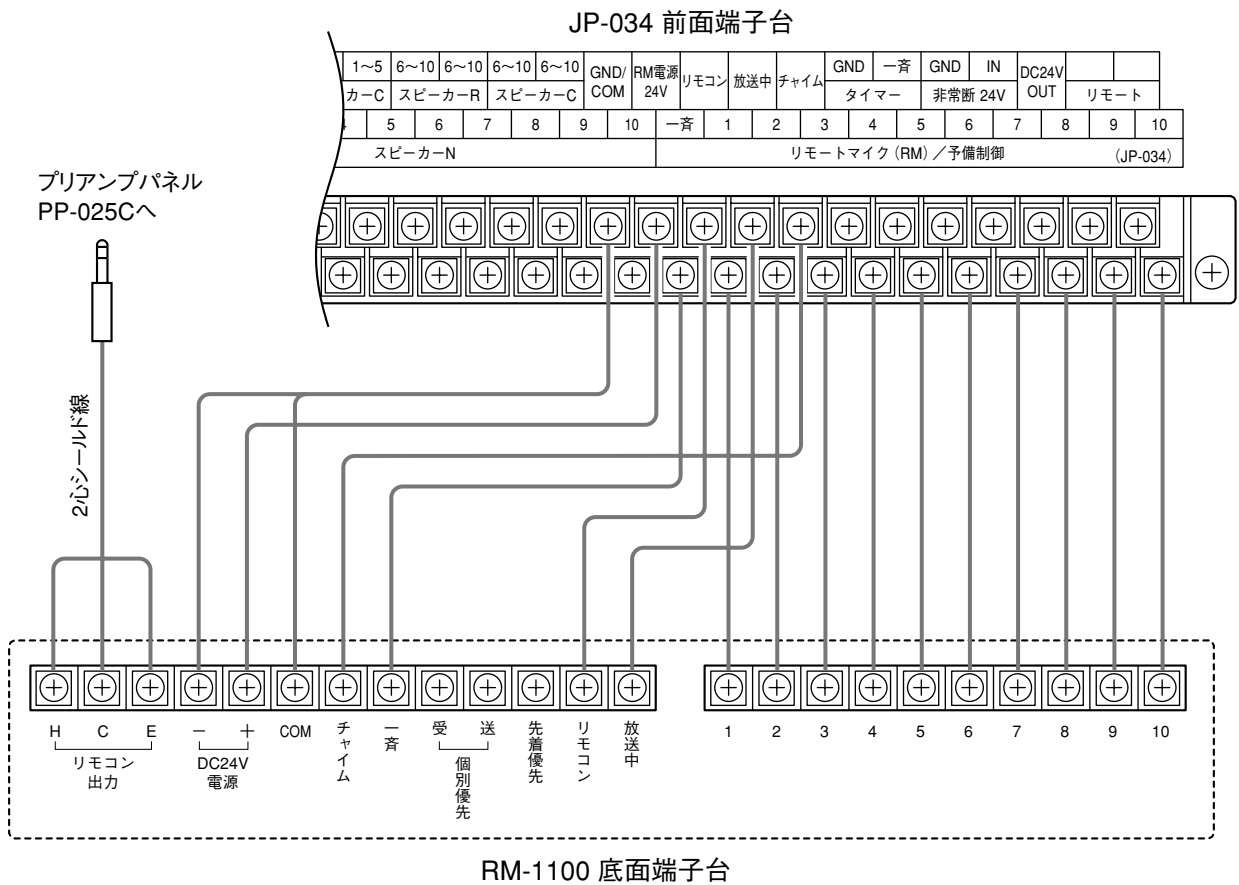


※ 配線色はJEITA技術基準による。

ジャンクションパネルJP-034、増設用ジャンクションパネルJP-024の前面端子台への外部接続のときに圧着端子を用いるときは、JIS C2805の呼び1.25-4のものを使用してください。

■ 業務用リモートマイク RM-1100 / 予備制御の接続

[接続例]



● 配線距離と使用電線

配線距離	400 m 以下	800 m 以下	1200 m 以下
電源・制御線	φ 0.65 mm 以上	φ 0.9 mm 以上	φ 1.2 mm 以上
シールド線	φ 0.26 mm 以上	φ 0.35 mm 以上	φ 0.5 mm 以上

● ジャンクションパネル JP-034 の端子説明

- リモコン端子 : RM-1100 に対して、放送可能であることを示す信号を送る端子です。
他の優先度の高い機器が放送中は、RM-1100 が放送不可能であることを示す信号を出します。
- 放送中端子 : 他の機器が放送中に RM-1100 の他機作動中表示灯を点灯させる信号を送る端子です。
- チャイム端子 : RM-1100 の放送中にチャイムスイッチを押したときに出る信号を受ける端子です。
このとき JP-034 後面のチャイム OUT 端子から信号が出力されます。
- RM 電源 24 V 端子 : RM-1100 に DC24 V を供給する端子です。
- 一斉端子 : RM-1100 から一斉放送を受ける端子です。

● スピーカー回線の接続

RM-1100 を使用した場合、スピーカー回線を接続するには、以下の2つの方法があります。

[個別接続]

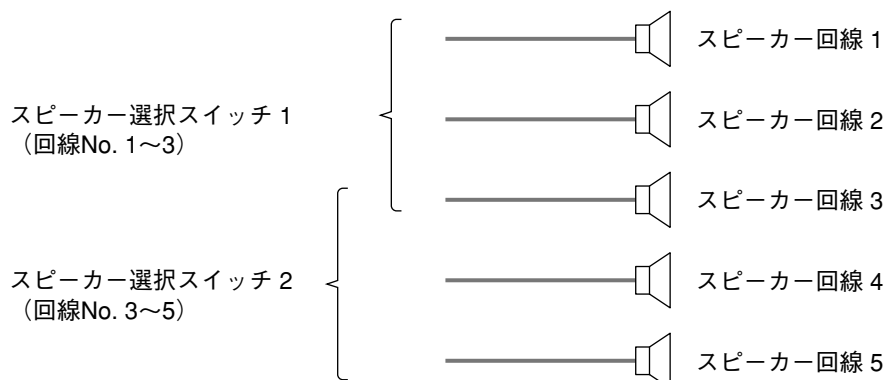
RM-1100 のスピーカー選択スイッチ1つに対し、1つのスピーカー回線を対応させる接続です。

RM-1100 の底面端子台のNo.1～10 と JP-034/024 の前面端子台のリモートマイク／予備制御のNo.1～10 を各端子ごとに接続します。

[グループ接続]

RM-1100 のスピーカー選択スイッチ1つに対し、複数のスピーカー回線を対応させる接続です。

ただし、1つのスピーカー回線が複数のスピーカー選択スイッチに対応するときはダイオードマトリクスボードキット DB-014 が必要です。(下図の例のとき)



グループに含まれるスピーカー回線番号の端子間（JP-034/024 の前面端子台）を短絡してから、RM-1100 の端子と接続します。

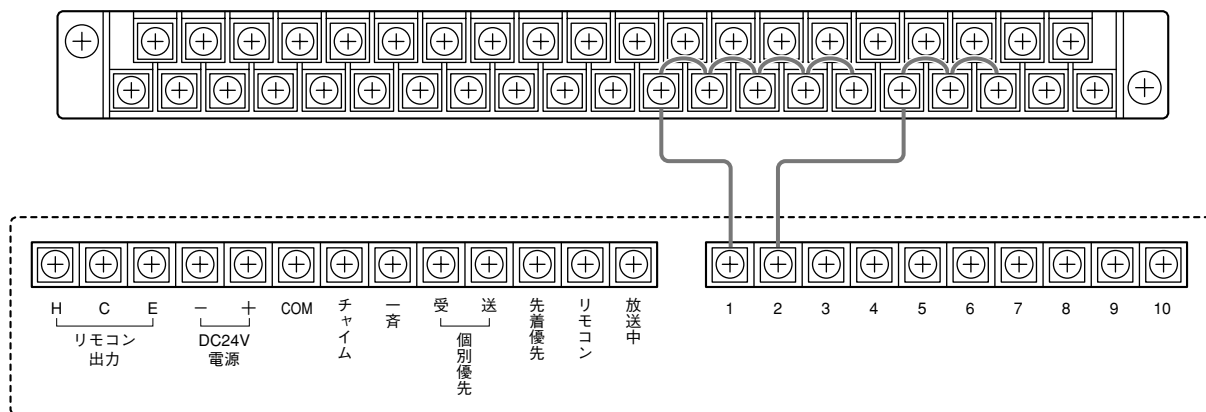
(接続例)

RM-1100 スピーカー選択スイッチ 1 → スピーカー回線 No. 1～5

RM-1100 スピーカー選択スイッチ 2 → スピーカー回線 No. 6～8

JP-034 前面端子台

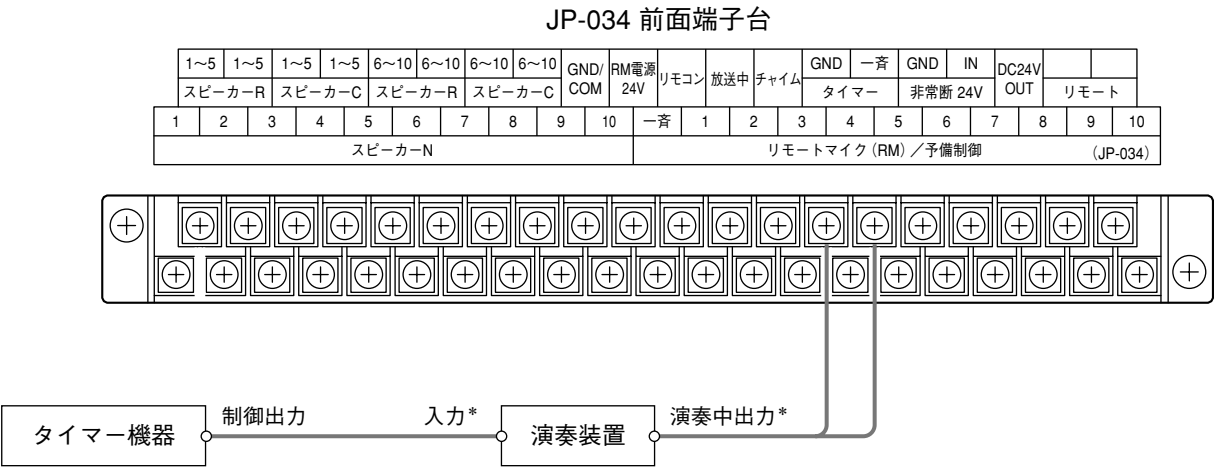
1～5	1～5	1～5	1～5	6～10	6～10	6～10	6～10	GND/COM	RM電源 24V	リモコン	放送中	チャイム	GND	一斉	GND	IN	DC24V OUT				
スピーカー-R	スピーカー-C	スピーカー-C	スピーカー-R	スピーカー-C	スピーカー-C	スピーカー-C	スピーカー-C						タイマー	非常断	24V			リモート			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	一斉	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
スピーカー-N										リモートマイク (RM) / 予備制御										(JP-034)	



RM-1100 底面端子台

■ タイマー機器の接続

タイマーによる起動で時報チャイム放送やCM放送などを行うときは、以下のように接続します。



* 演奏中出力とは、機器が演奏している間にメイクしている出力端子です。
また、接続する演奏装置の種類により、入力と演奏中出力の端子名称は下表のようになっています。

品 名	品 番	入力端子	演奏中出力端子
メロディクス	ML-301B	起動入力	リモート出力
	ML-1000	起動・停止	ビジー
デジタルアナウンスマシン	EV-350P/350R	起動・停止	ビジー 1、2
CD-BGM プレーヤー	CD-2000/2500	スタート入力	動作中出力

■ ご注意

タイマー起動によって演奏が直ちに開始される機器が接続されているときは、プリアンプパネル PP-025C の電源スイッチを常時「入」にしておいてください。「切」になっていると、起動後にパワーアンプが立ち上がるまで約 1 秒程度かかり、放送内容の頭切れを起こすことがあります。

■ 非常断 24 V の接続

本業務用放送設備と非常用放送設備が併設されているときに接続します。

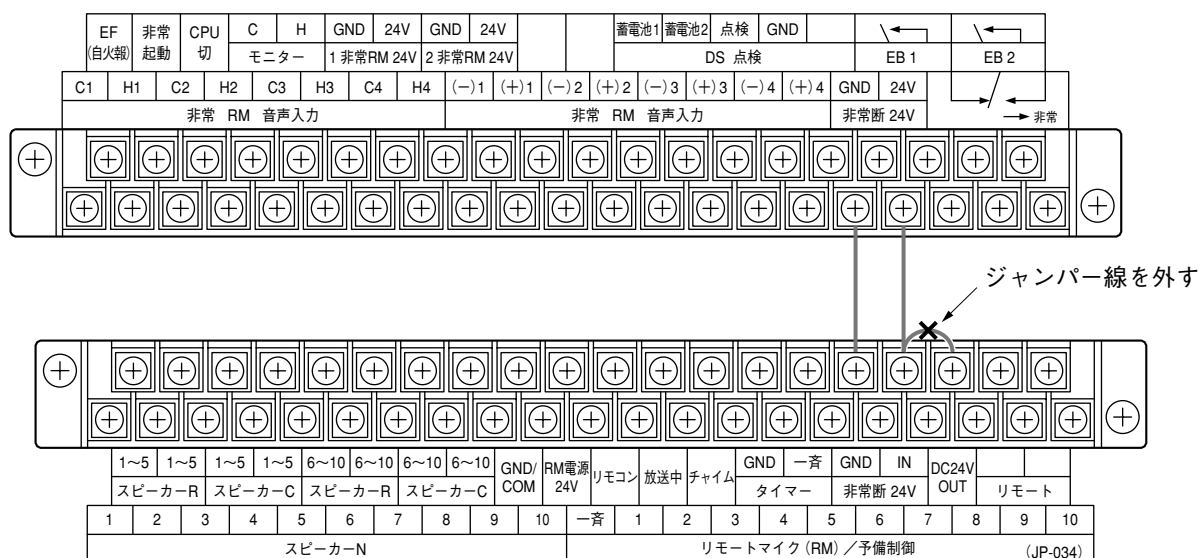
通常時は、非常用放送設備の非常断 24 V 端子から DC24 V が出力されており、これを業務用放送設備のジャンクションパネル JP-034 の非常断 24 V 端子で受けることで、業務用放送設備が動作可能な状態にあります。業務用放送設備と非常用放送設備を併設するときは、以下のとおりに接続してください。

● 業務用放送設備に停電補償機能がないとき (非常電源パネル DS-029 が収納されていないとき)

ジャンクションパネル JP-034 前面端子台の「DC24 V OUT」と「非常断 24 V IN」間に接続されているジャンパー線を取り外し、非常用放送設備 JP-0410 または FS-991 の同じ端子同士を接続します。

(1) ラック型 FS-970 シリーズとの接続

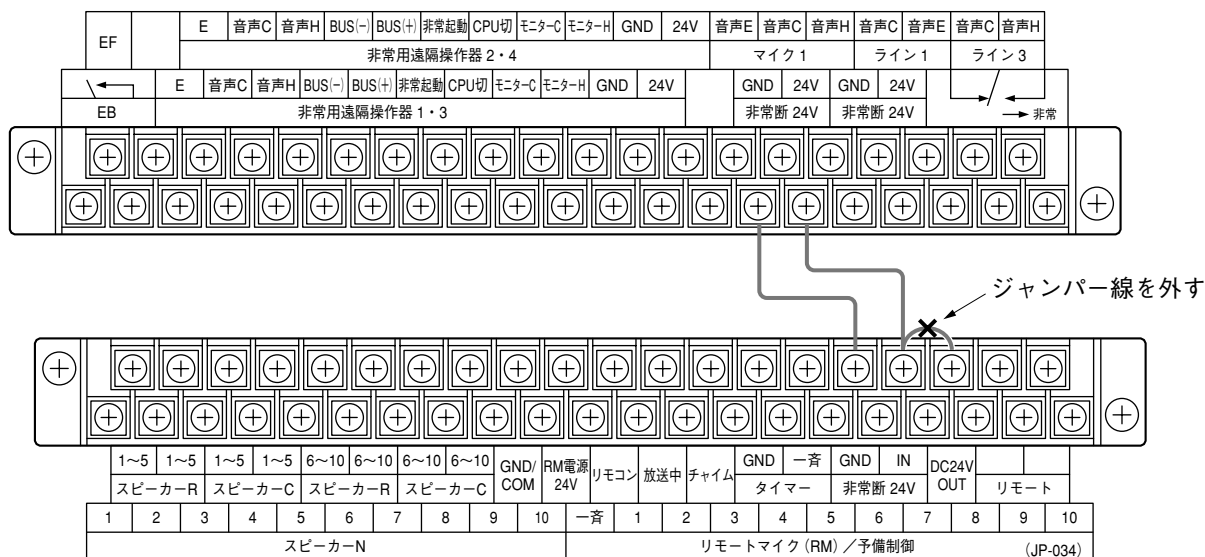
JP-0410 前面端子台 (上段)



JP-034 前面端子台

(2) 壁掛型 FS-991 との接続

FU-991 内部端子台 (端子台2)



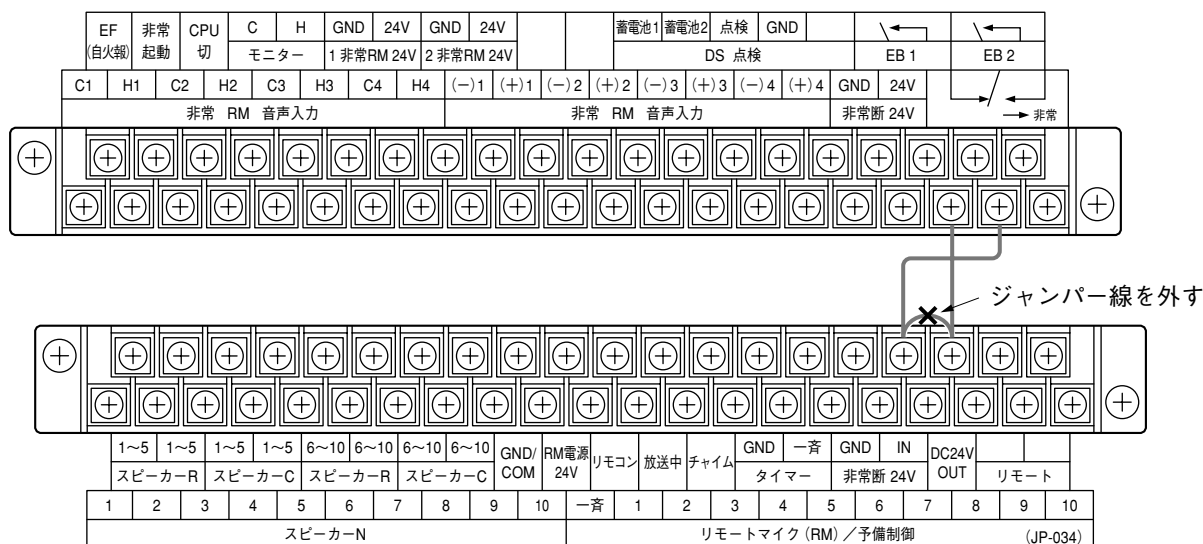
JP-034 前面端子台

● 業務用放送設備に停電補償機能があるとき

ジャンクションパネル JP-034 前面端子台の「DC24 V OUT」と「非常断 24 V IN」間に接続されているジャンパー線を取り外し、非常用放送設備 JP-0410 または FS-991 の予備接点（非常時作動接点）に接続します。

(1) ラック型 FS-970 シリーズとの接続

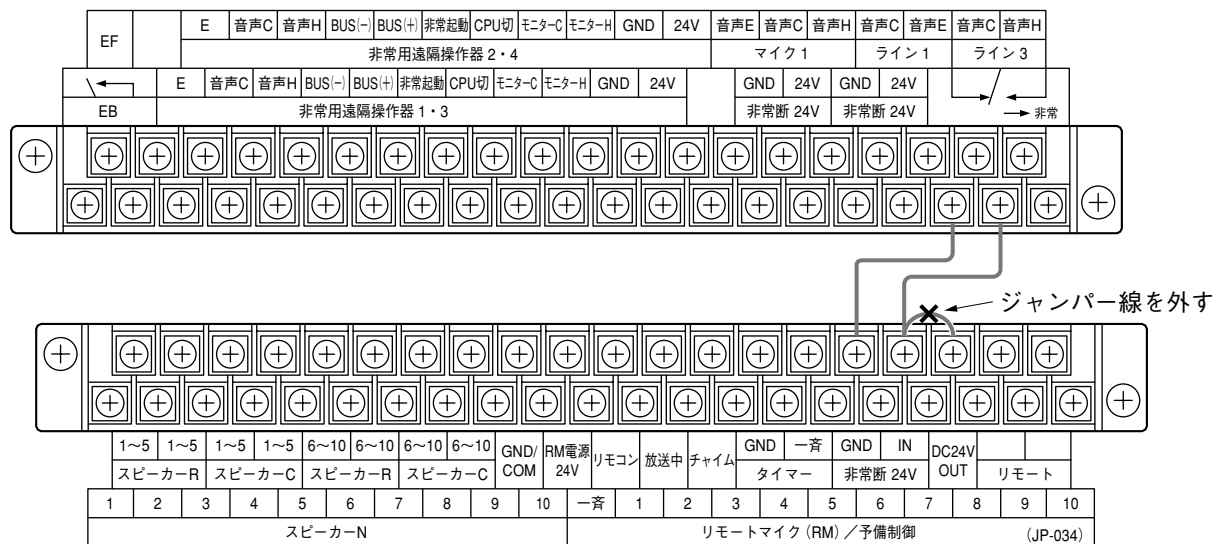
JP-0410 前面端子台（上段）



JP-034 前面端子台

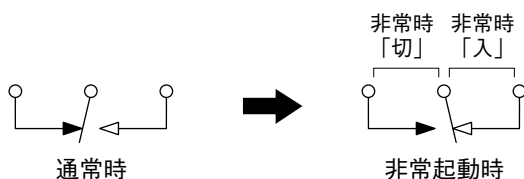
(2) 壁掛型 FS-991 との接続

FU-991 内部端子台（端子台2）



JP-034 前面端子台

※ 非常放送設備の予備接点（非常時作動接点）は、右図のとおり動作します。



非常用放送設備との併設がないときは、JP-034 前面端子台の「DC24 V OUT」と「非常断 24 V IN」間のジャンパー線を取り付けたままにしておきます。

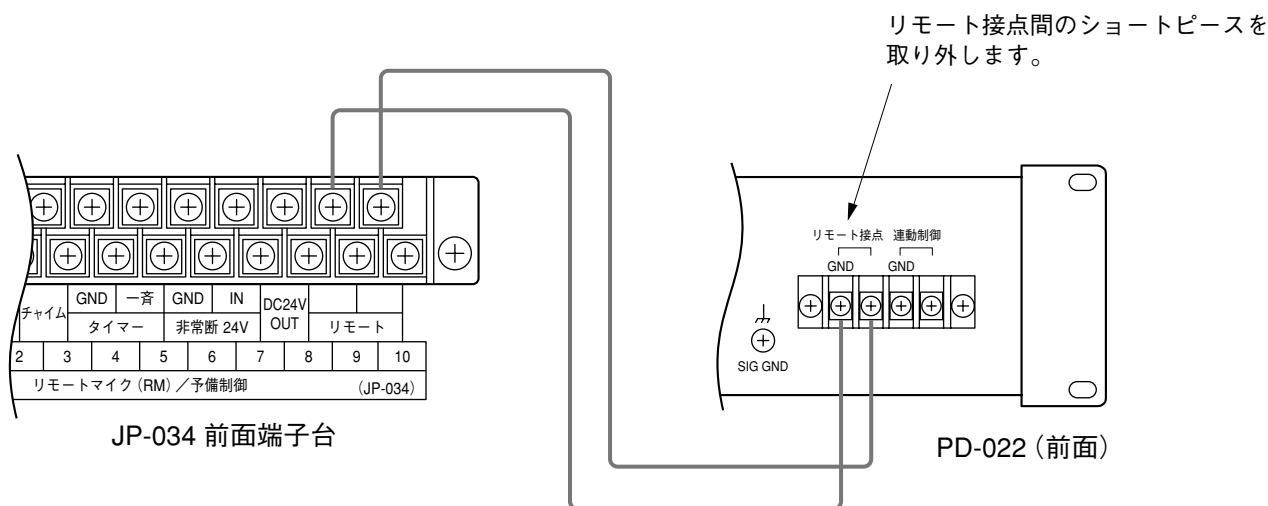
■ 電源分配パネル PD-022 との接続

各ラックパネル組み込みの場合に JP-034 後面のコンセントでは不足するときは、電源分配パネル PD-022 の組み込みが必要です。

PD-022 の組み込み位置は、ジャンクションパネル JP-034 または JP-024 の下にしてください。

PD-022 には連動コンセントが 8 個、非連動コンセントが 5 個設けてあります。連動コンセントは、PD-022 のリモート接点端子間が短絡したときに、AC100 V が供給されるコンセントです。

JP-034 の動作と連動して PD-022 の連動コンセントに AC100 V を供給させるためには、以下のように接続してください。



PD-022 を 2 台以上組み込み、連動制御するときは、連動制御端子と次の PD-022 のリモート接点端子を接続します。接続するときは、極性に注意してください。

システムの設定について

本業務用放送設備での設定内容には、以下の項目があります。

ご注意

各項目の設定（初期設定の変更）は、各パネルをキャビネットに収納する前に行ってください。

■ 設定内容

● 一斉放送時の通常モード／緊急モードの設定

緊急モードとは、スピーカーの音量調節器がOFFになっていても放送することができるモードです。

- (1) タイマー起動時の通常一斉／緊急一斉
- (2) スピーカーセクターパネル SS-014/015 起動時の通常一斉／緊急一斉
- (3) 業務用リモートマイク RM-1100／予備制御起動時の通常一斉／緊急一斉
- (4) 業務用リモートマイク RM-1200／起動時の通常一斉／緊急一斉

メ モ 工場出荷時は、すべて通常一斉に設定されています。

● プリアンプパネル PP-025C 制御の連動モード／非連動モードの設定

PP-025C の JP-034 に対する制御モードの設定で、連動モードのときは PP-025C の電源スイッチが「切」の状態でも起動がかかり、JP-034 が立ち上がったときに自動的に PP-025C に電源が投入されます。

メ モ 工場出荷時は、連動モードに設定されています。

● スピーカーセクターパネル SS-014/015 と業務用リモートマイク RM-1100／予備制御間の優先レベルの設定

優先レベルは、4 レベルあります。以下のいずれかを設定することができます。

- (A) タイマー ＞ 業務用リモートマイク RM-1200 ＞ 本体 ＞ 業務用リモートマイク RM-1100／予備制御
- (B) タイマー ＞ 業務用リモートマイク RM-1200 ＞ 業務用リモートマイク RM-1100／予備制御 ＞ 本体

メ モ 工場出荷時は、上記 A に設定されています。

● 優先放送時のプリアンプの入力信号カットの設定

プリアンプパネル PP-025C には入力 1 群、2 群、および 3 群があります。優先順位は、1 群＞2 群＞3 群です。優先の制御は、入力信号レベルまたは外部からの制御（信号カット）により行われます。

入力信号のレベルは、入力信号の音量が小さいと優先機能が働かないことがあります。その場合は外部からの制御が必要です。

ここでは、カットする入力信号を起動機器ごとに設定します。

- (1) タイマー起動時 : カット無／入力 3 カット／入力 2、3 カット
- (2) スピーカーセクターパネル SS-014/015 起動時 : カット無／入力 3 カット／入力 2、3 カット
- (3) 業務用リモートマイク RM-1100／予備制御起動時 : カット無／入力 3 カット／入力 2、3 カット
- (4) 業務用リモートマイク RM-1200／起動時 : カット無／入力 3 カット／入力 2、3 カット

メ モ 工場出荷時は、すべてカット無に設定されています。

● グループ放送の設定

ご注意

グループ設定には、ダイオードマトリクスボードキット DB-014（別売品）の組み立てと組み込み作業が別途必要です。

グループ放送は、異なるスピーカー回線をひとまとめにして、同一放送を1つのスピーカー選択スイッチで行うものです。

- (1) スピーカーセクターパネル SS-014 グループ放送 : 最大 10 グループまで設定可能
- (2) 業務用リモートマイク RM-1100 / 予備制御グループ放送 : 最大 10 グループまで設定可能
- (3) 業務用リモートマイク RM-1200 / 予備制御グループ放送 : 最大 20 グループまで設定可能

メモ 工場出荷時は、すべてグループ設定はされていません。

設定のしかた

■ JP-034/024 の内部の開けかた

設定項目によっては、ジャンクションパネル JP-034/024 の内部を開ける必要があるものがあります。

- 1 前面パネルの左右のねじを外して、前面パネルを取り外す。
(下図 ➡ 印)

使用ねじ	小ねじ M3 × 6 (座金付き) …… 4
------	------------------------

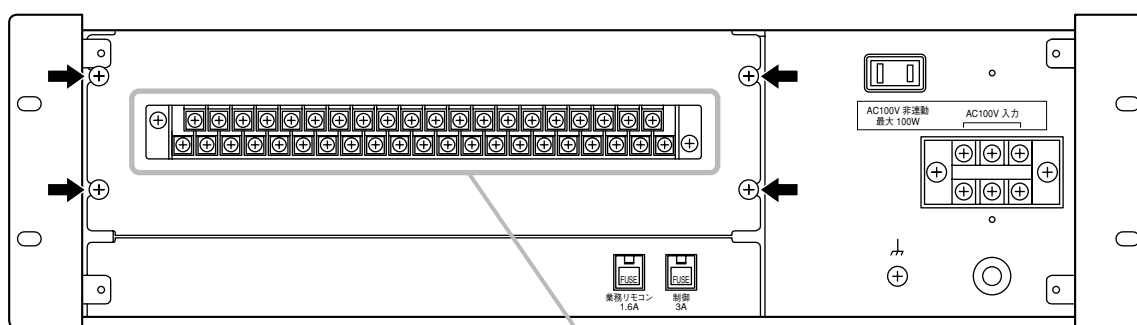
JP-034/024 (前面)



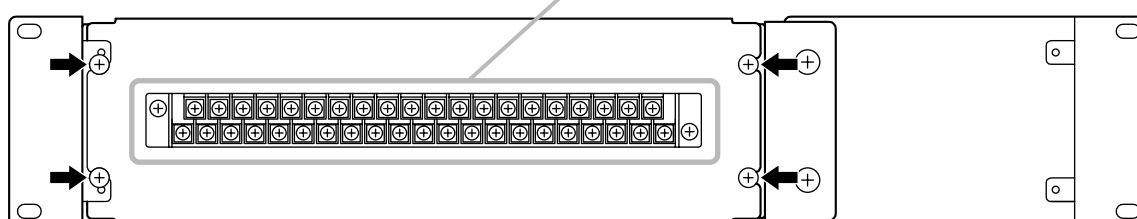
- 2 前面端子台の左右のねじを外して、端子台ユニットを前方に引き出す。

使用ねじ	小ねじ M4 × 8 …………… 4
------	--------------------

JP-034 (前面パネルを外した図)

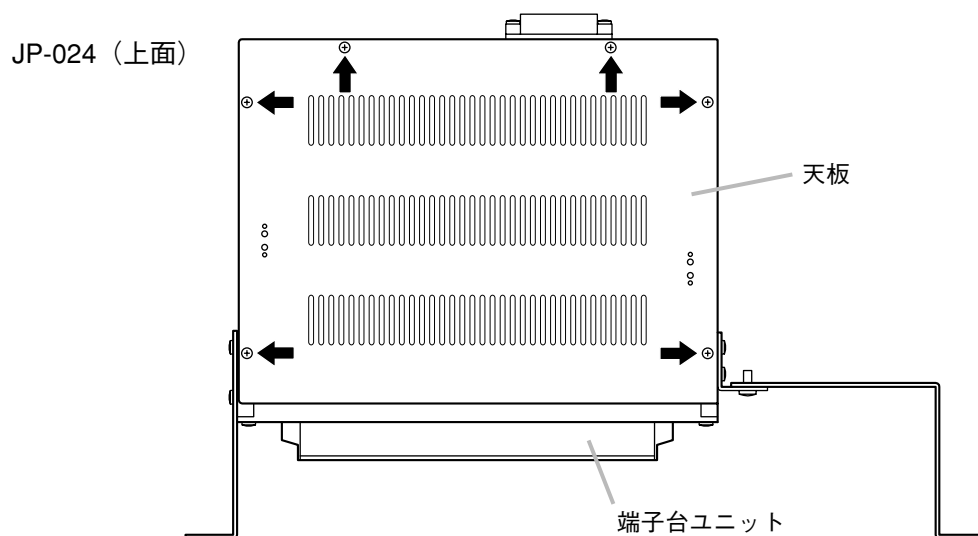
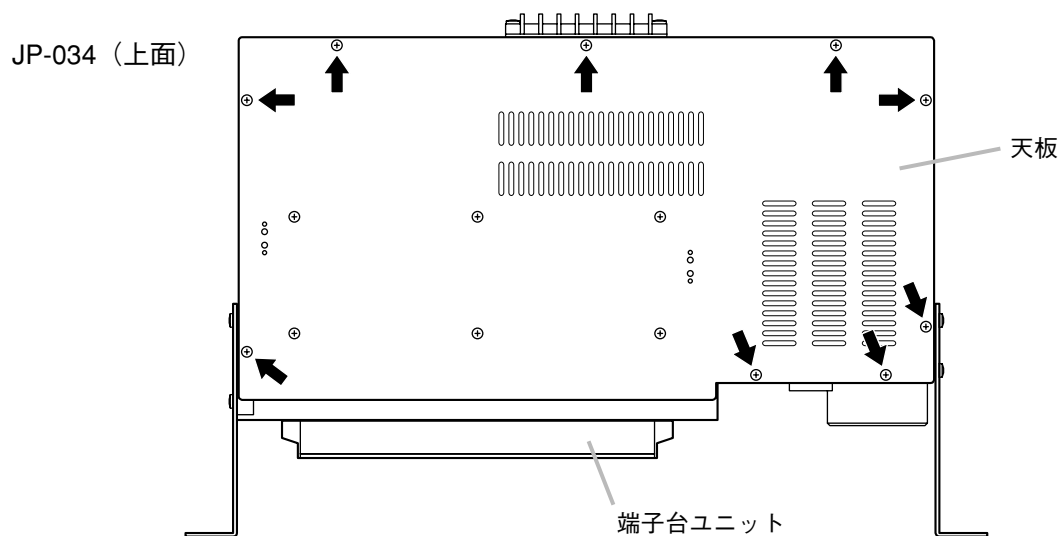


JP-024 (前面パネルを外した図)



3 天板を止めているねじを外して、天板を取り外す。(下図 ➡ 印)

使用ねじ	タッピンねじ 3×8 9 (JP-034 の場合) 6 (JP-024 の場合)
------	---

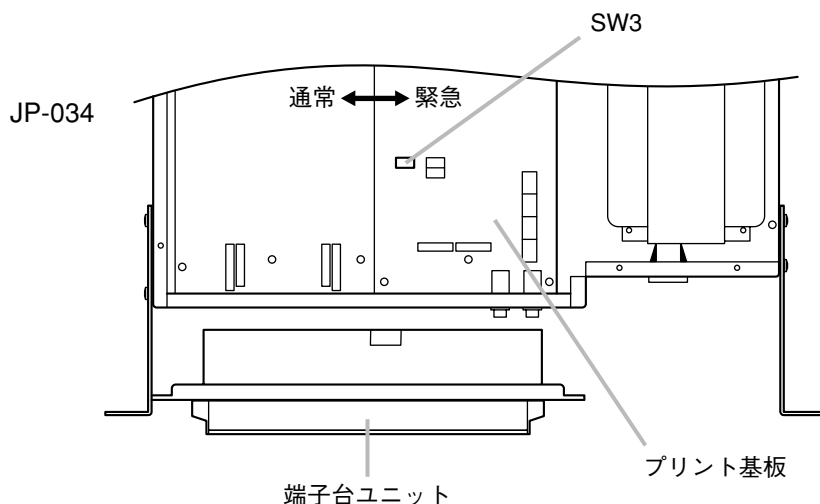


4 設定作業終了後、逆の手順で組み立てる。

■ 一斉放送時の通常モード／緊急モードの設定

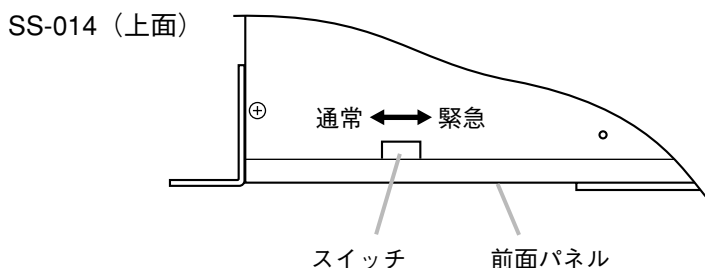
● タイマー起動時

JP-034 の内部を開け、プリント基板上のスイッチ（SW3）で設定します。



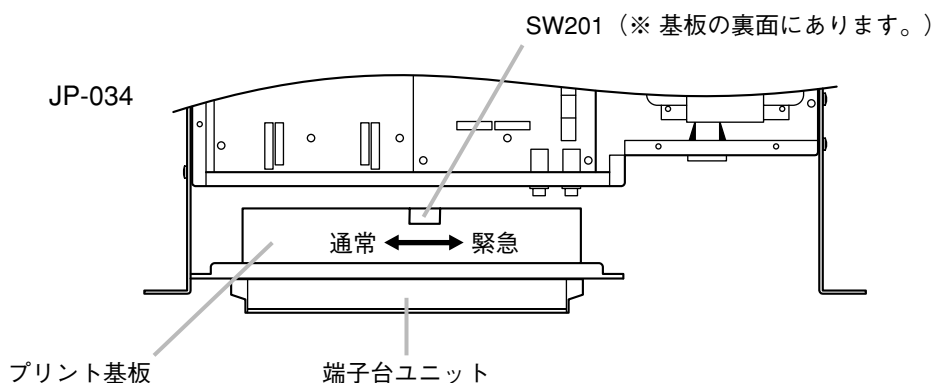
● スピーカーセレクトパネル SS-014/015 起動時

SS-014 の左側上面の穴から見えるスイッチで設定します。
設定には、先の細いドライバーなどを使用してください。



● 業務用リモートマイク RM-1100／予備制御起動時

JP-034 の内部を開け、端子台ユニットのプリント基板上のスイッチ（SW201）で設定します。

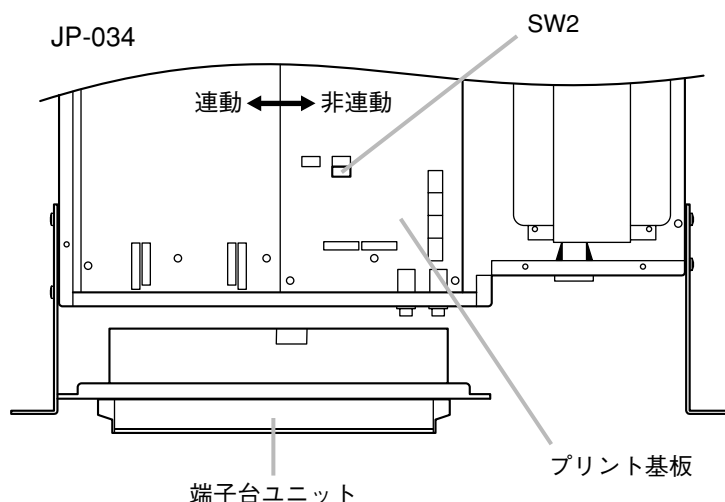


● 業務用リモートマイク RM-1200 起動時

RM-1200 を接続するリモートマイクインターフェースパネル RF-011 で設定します。
設定のしかたは、RF-011 に付属の工事説明書をお読みください。

■ プリアンプ制御の連動モード／非連動モードの設定

JP-034 の内部を開け、プリント基板上のスイッチ（SW2）で設定します。



■ 本体と業務用リモートマイク RM-1100／予備制御間の優先レベルの設定

[初期設定]

優先順位は、タイマー > RM-1200 > 本体 > RM-1100／予備 となっています。

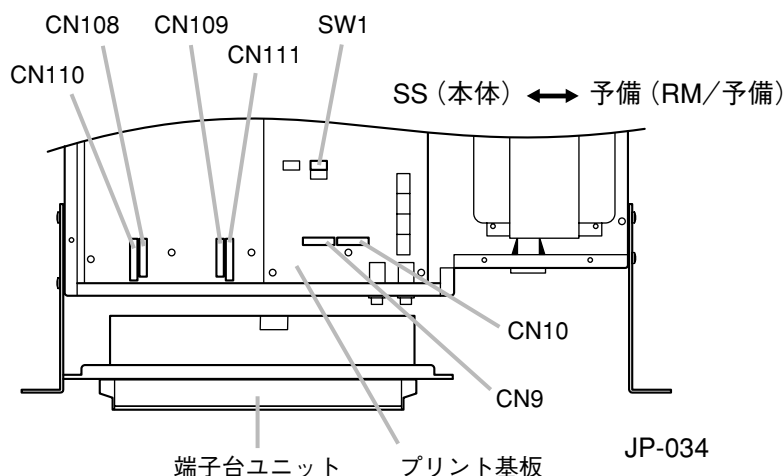
本体と RM-1100／予備の優先順位を入れ換えるには、JP-034 の内部を開け、プリント基板上のコネクタを差し換えた後にスイッチ（SW1）で設定します。

1 CN9（赤／白）と CN10（橙／白）を差し換える。

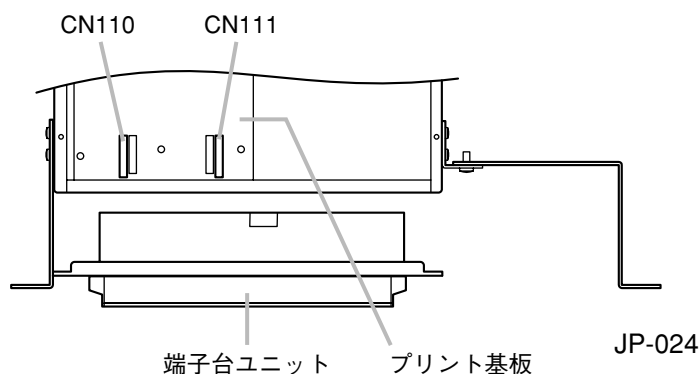
2 CN108（赤／白）と CN109（橙／白）を差し換える。

3 CN110（赤／白）を CN111 に差し換える。

4 SW1 を「予備」側に切り換える。



増設用ジャンクションパネル JP-024 を収納するときは、JP-024 の内部を開けてから CN110（赤／白）と CN111（橙／白）を差し換えてください。



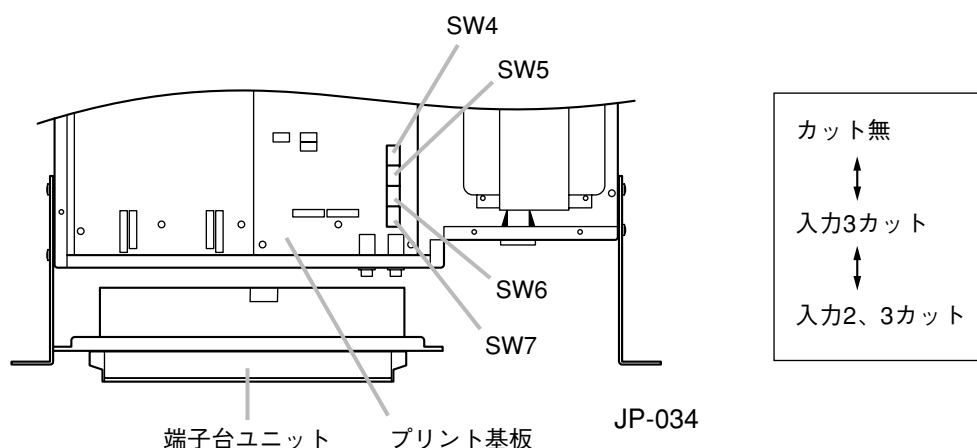
■ 優先放送時のプリアンプの入力信号カットの設定

JP-034 の内部を開け、プリント基板上のスイッチで設定します。
各起動機器に対する設定スイッチは以下のとおりです。

- | | |
|----------------------------------|---------|
| (1) タイマー起動時 | : SW4 |
| (2) 業務用リモートマイク RM-1200 起動時 | : SW5 |
| (3) 本体起動時 | : SW6 * |
| (4) 業務用リモートマイク RM-1100 / 予備制御起動時 | : SW7 * |

* 「本体と RM-1100 / 予備制御間の優先レベルの設定」(P. 30) を、RM-1100 / 予備制御 > 本体になるように接続しているときの入力信号カットの設定スイッチは以下のとおりです。

- ・ 本体起動時 : SW7
- ・ 業務用リモートマイク RM-1100 / 予備制御起動時 : SW6



■ ご注意

入力信号カットの機能を設定しているときの信号カット量は、プリアンプパネル PP-025C で設定しているミュートレベルとなります。ミュートレベルの調節のしかたは、PP-025C の取扱説明書をお読みください。

■ グループ放送の設定

グループ放送の設定には、ダイオードマトリクスボードキット DB-014 (別売品) を組み立てて、以下のよう
に組み込む必要があります。

- (1) スピーカーセレクトパネル SS-014 にグループ放送を設定するとき (最大 10 グループ)
DB-014 を組み立てて、SS-014 内に組み込みます。
- (2) 業務用リモートマイク RM-1100 にグループ放送を設定するとき (最大 10 グループ)
DB-014 を組み立てて、ジャンクションパネル JP-034 内に組み込みます。
ただし、設定のしかたによっては DB-014 が不要場合があります。
- (3) 業務用リモートマイク RM-1200 にグループ放送を設定するとき (最大 20 グループ)
DB-014 を組み立てて、リモートマイクインターフェースパネル RF-011 内に組み込みます。
RF-011 への組み込みかたは、RF-011 に付属の工事説明書をお読みください。

■ ダイオードマトリクスボードキット DB-014 の組み立てかた

1 DB-014の構成部品を確認する。

DB-014 基板	1
ベース付きポスト (EH 10P)	7
ダイオード	200
六角スリーブ H8	6
小ねじ M3×4	12
コネクタ付きケーブル (EH-SM 10P) 長さ約 350 mm (赤／白)	8
コネクタ付きケーブル (EH-EH 10P) 長さ約 260 mm (緑／白)	5
コネクタ付きケーブル (SM-SM 10P) 長さ約 2300 mm	4

2 グループ放送の設定を行う機器および設定内容を確認する。

[設定を行う機器]

- (1) スピーカーセレクトパネル SS-014 → SS-014 に組み込み、最大 10 局
- (2) 業務用リモートマイク RM-1100 → JP-034 に組み込み、最大 10 局
- (3) 業務用リモートマイク RM-1200 → RF-011 に組み込み、最大 20 局

[設定内容]

スピーカー選択スイッチ No. → スピーカー回線 No.

3 設定内容に従って、基板に部品をはんだ付けする。

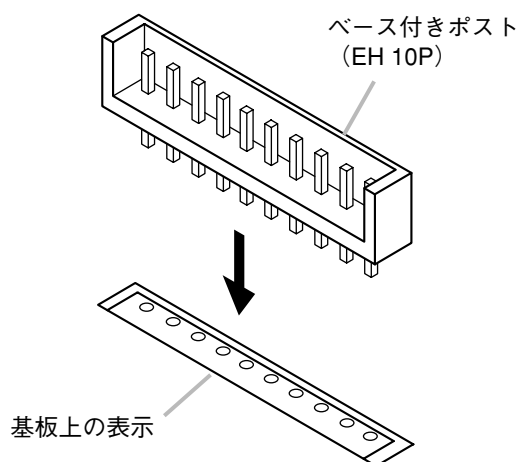
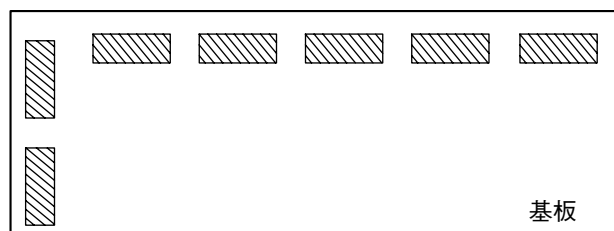
ご注意

部品は基板の文字表示のある面に取り付け、はんだ付けはその裏面から行ってください。

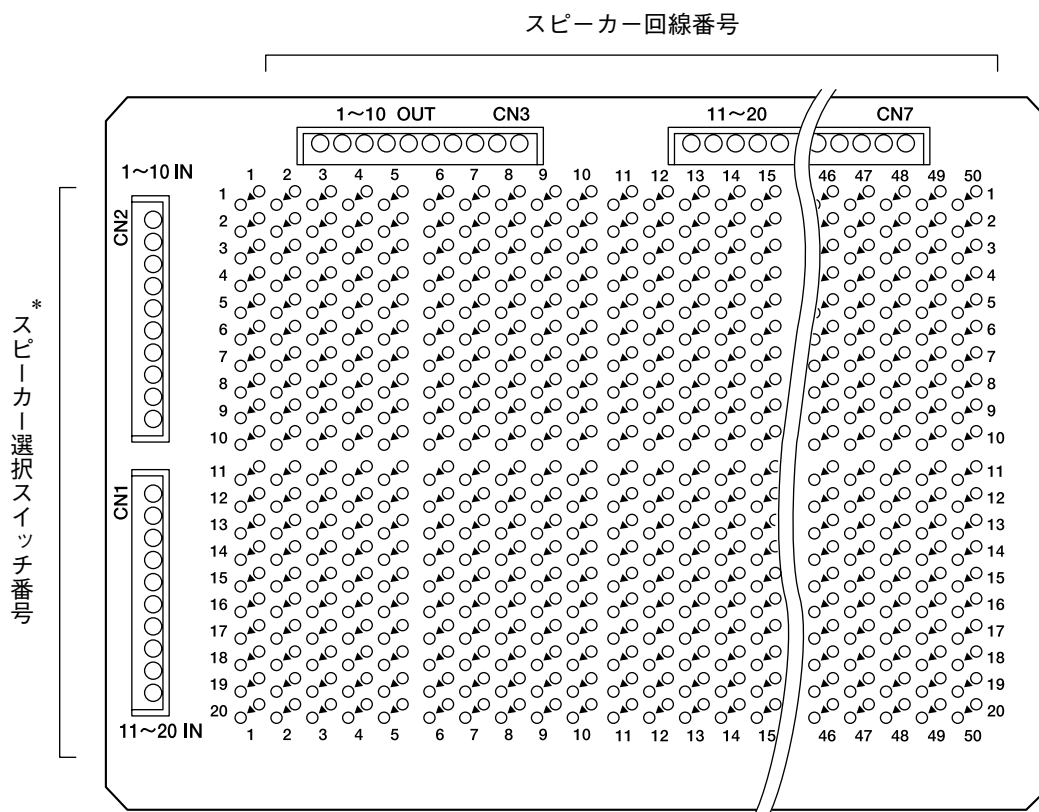
3-1 ベース付きポスト (EH 10P) 7個を基板 (下図の 部) にはんだ付けする。

ご注意

右図を参考にして、取り付け方向を間違えないようにポストを取り付けてください。

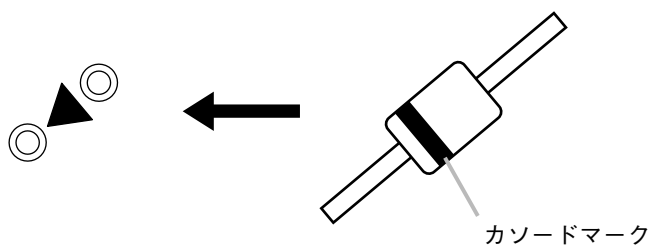


3-2 グループ放送の系統割り当てに従って、ダイオードを基板にはんだ付けする。

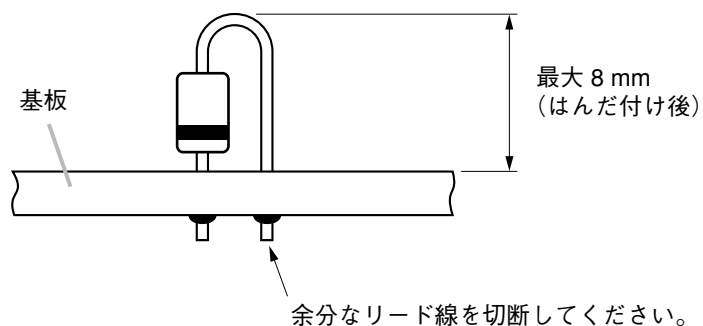


* SS-014 および RM-1100 は 1~10、RM-1200 は 1~20 です。

1つのスピーカー選択スイッチに対するスピーカー回線のところにダイオードを下図のように取り付けます。



取り付け後は、基板裏面の余分なリード線を切断してはんだ付けしてください。



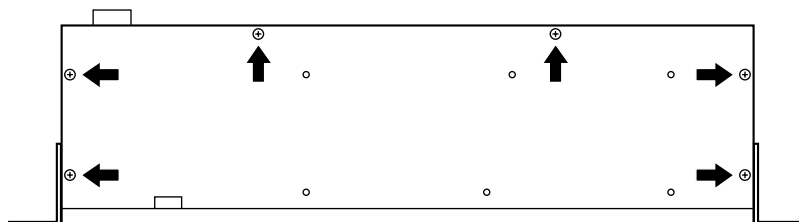
■ DB-014 の組み込みかた

● SS-014 への組み込み（本体のグループ放送設定）

RF-011 への組み込みかた（RM-1200 のグループ放送設定）については、RF-011 に付属の工事説明書をお読みください。

1 天板を止めているねじ 6 本を外して、天板を取り外す。（下図 ➡ 印）

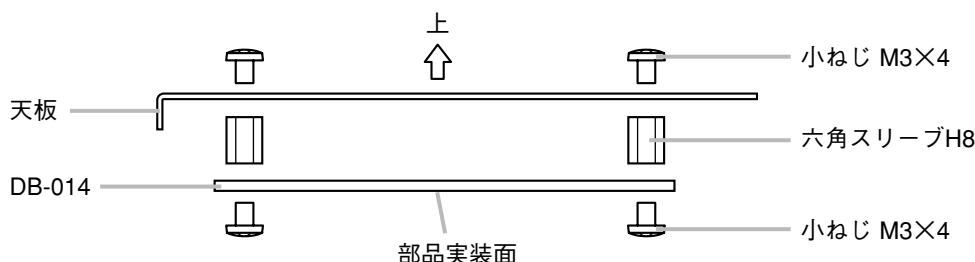
使用ねじ	小ねじ M3×6 6
------	------------------



2 天板の裏面に DB-014 を取り付ける。

DB-014 の取り付けには方向があります。ねじ穴を確認してから取り付けてください。

使用ねじ	小ねじ M3×4 12（DB-014 に付属）
	六角スリーブ H8 6（DB-014 に付属）



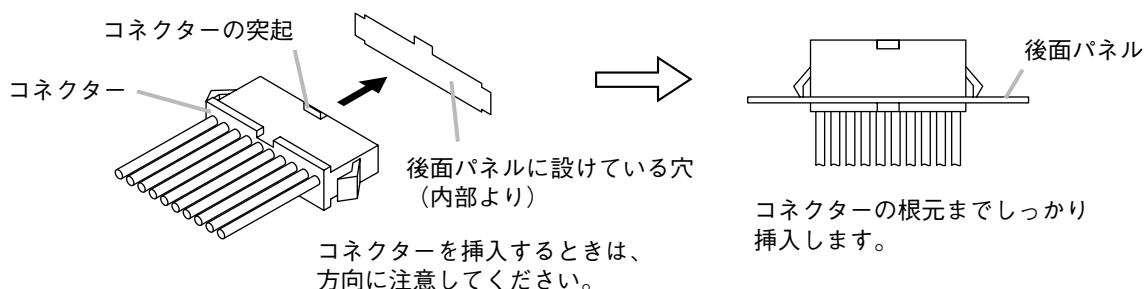
3 DB-014 に付属のコネクター付きケーブルで、SS-014 内部のコネクター接続の入れ換え、および DB-014 との接続をする。

3-1 SS-014 のスイッチ基板上のコネクター CN2 を外し、DB-014 上の CN3 に接続する。

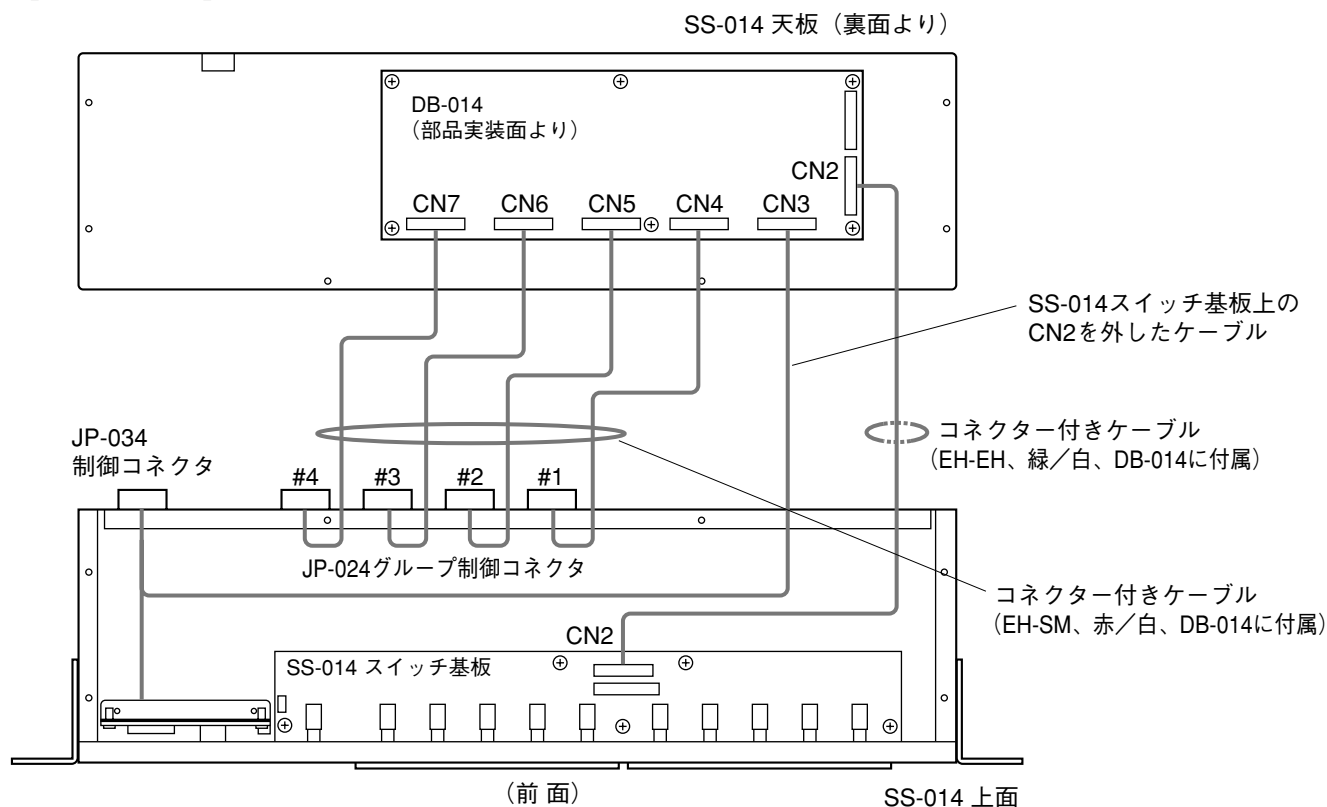
3-2 DB-014 に付属のコネクター付きケーブル（EH-EH、緑/白）で、SS-014 スイッチ基板の CN2 と DB-014 の CN2 を接続する。

3-3 DB-014 に付属のコネクター付きケーブル（EH-SM、赤/白）で、一方を DB-014 上の CN4 に接続し、もう一方を SS-014 後面の JP-024 グループ制御コネクタ # 1（後面パネルに表示しています）の穴に挿入する。同様に、CN5 → # 2、CN6 → # 3、CN7 → # 4 の穴に装着する。

3-4 作業終了後、天板を元どおりに取り付ける。



[接続完成図]



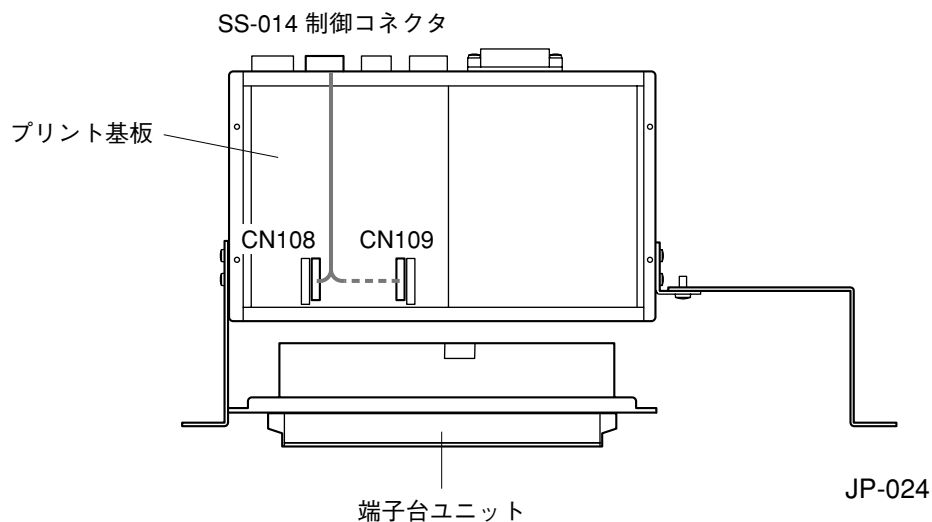
4 システム内に増設用ジャンクションパネルJP-024が収納されているときは、JP-024内部を開け、コネクタを接続する。

JP-024の開けかたは、P. 32「JP-034/024の内部の開けかた」をお読みください。

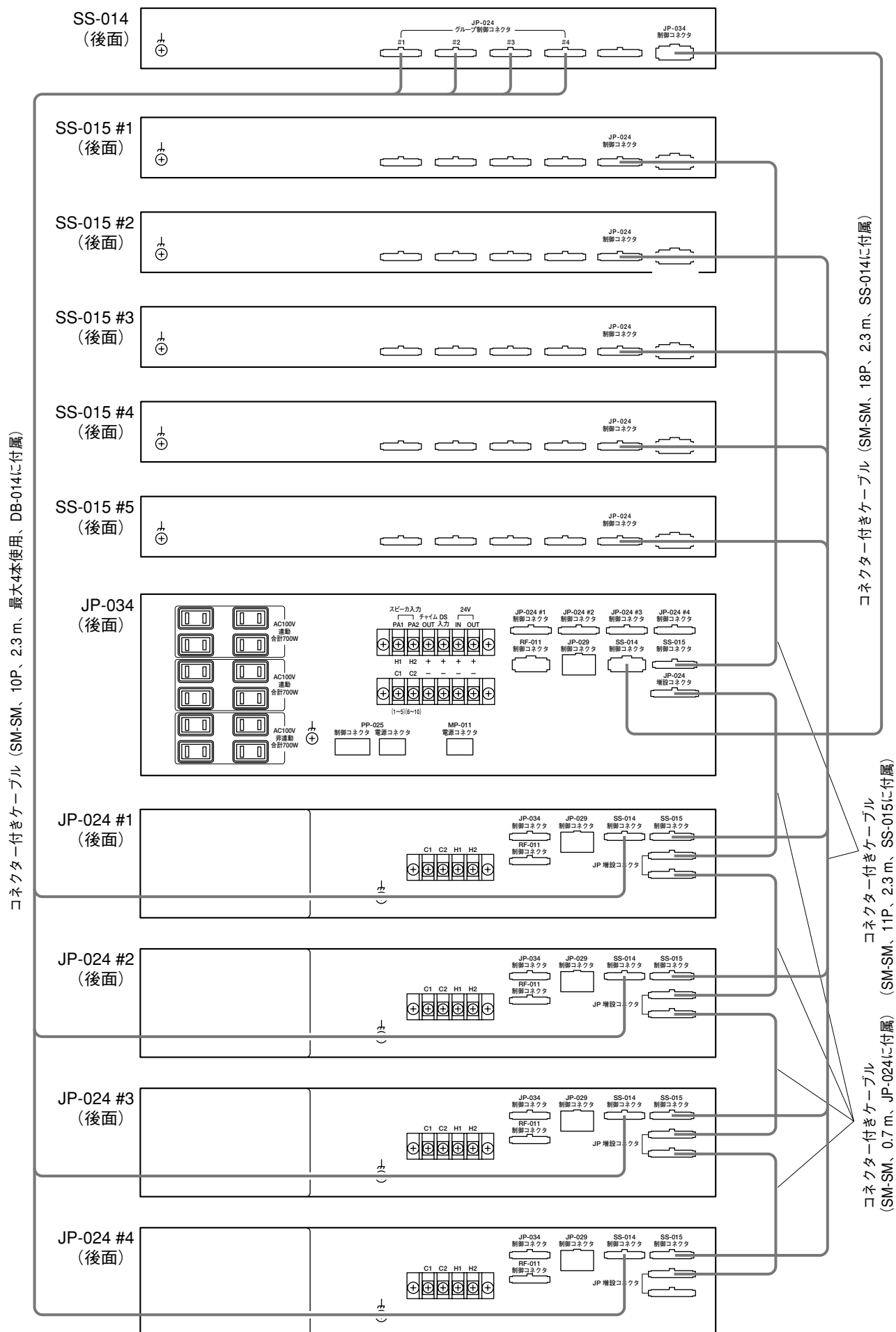
4-1 DB-014に付属のコネクタ付きケーブル（EH-SM、赤／白）で、一方をプリント基板上のCN108*に接続し、もう一方をJP-024後面のSS-014制御コネクタ（後面パネルに表示しています）の穴に挿入する。（参照 P. 39）

* 優先レベルの設定で、「タイマー＞RM-1200＞RM-1100＞予備＞本体」という優先順位の設定をしている場合は、コネクタ付きケーブルの片方をプリント基板上のCN109に接続してください。
優先レベルの設定については、P. 30「システムの設定について」をお読みください。

4-2 作業終了後、天板を元どおりに取り付ける。



5 DB-014に付属のコネクター付きケーブル (SM-SM、2.3 m) を使って、各パネル間を接続する。



● JP-034 への組み込み（業務用リモートマイク RM-1100／予備制御機器のグループ放送設定）

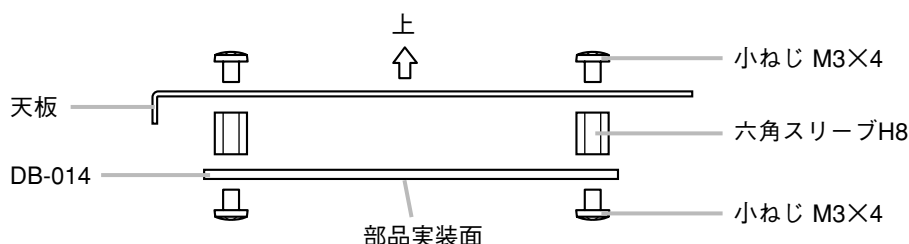
1 JP-034 の内部を開け、天板を取り外す。

JP-034 の開けかたは、P. 32「JP-034/024 の内部の開けかた」をお読みください。

2 天板の裏面に DB-014 を取り付ける。

DB-014 の取り付けには方向があります。ねじ穴を確認してから取り付けてください。

使用ねじ	小ねじ M3×4 …………… 12（DB-014 に付属）
	六角スリーブ H8 …………… 6（DB-014 に付属）



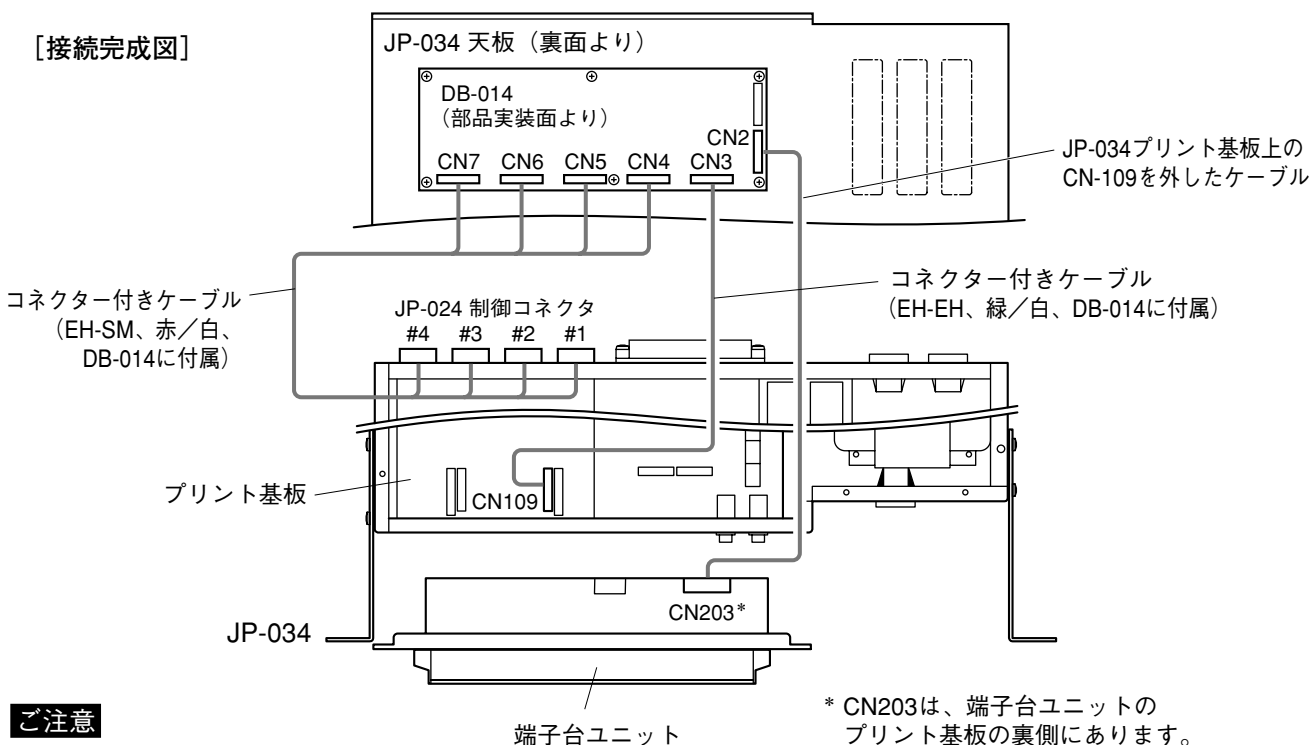
3 DB-014 に付属のコネクター付きケーブルで、JP-034 内部のコネクター接続の入れ換え、および DB-014 との接続をする。

3-1 JP-034 のプリント基板上的コネクター CN109（橙／白）を外し、DB-014 上の CN2 に接続する。

3-2 DB-014 に付属のコネクター付きケーブル（EH-EH、緑／白）で、JP-034 のプリント基板上的 CN109 と DB-014 の CN3 を接続する。

3-3 DB-014 に付属のコネクター付きケーブル（EH-SM、赤／白）で、一方を DB-014 上の CN4 に接続し、もう一方を JP-034 後面の JP-024 制御コネクタ #1（後面パネルに表示しています）の穴に挿入する。同様に、CN5 → #2、CN6 → #3、CN7 → #4 の穴に装着する。（参照 P. 39）

3-4 作業終了後、天板と端子台ユニットを元どおりに取り付ける。



ご注意

その他の接続線は省略しています。

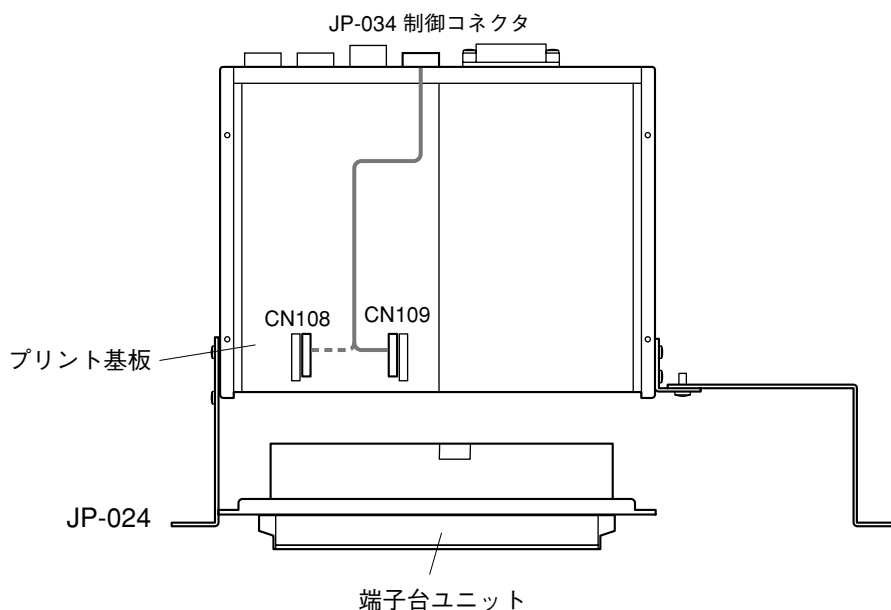
4 システム内に増設用ジャンクションパネル JP-024 が収納されているときは、JP-024 内部を開け、コネクタを接続する。

JP-024 の開けかたは、P. 32「JP-034/024 の内部の開けかた」をお読みください。

4-1 DB-014 に付属のコネクター付きケーブル（EH-SM、赤/白）で、一方をプリント基板上の CN109* に接続し、もう一方を JP-024 後面の JP-034 制御コネクタ（後面パネルに表示しています）の穴に挿入する。（参照 P. 39）

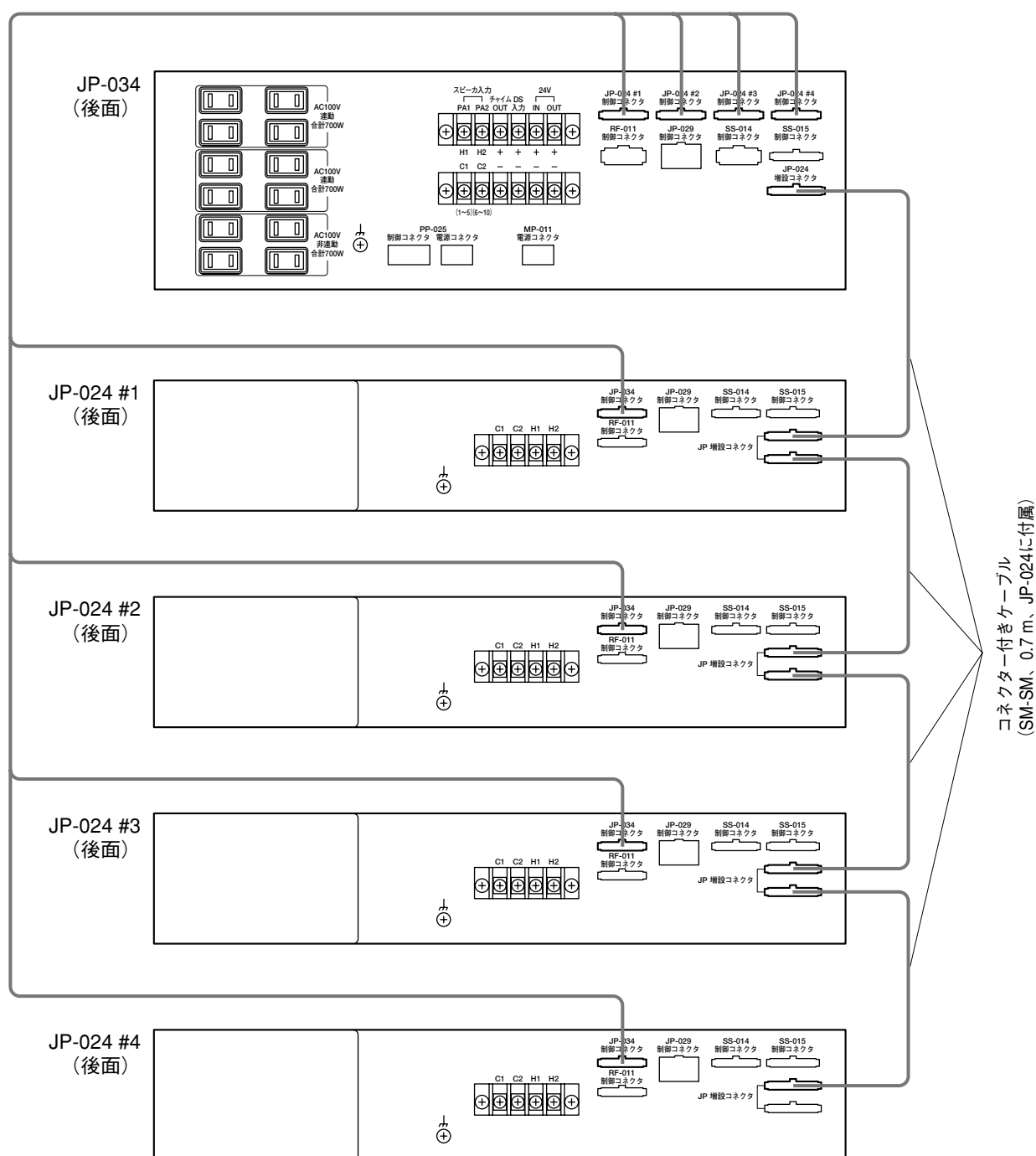
* 優先レベルの設定で、「タイマー＞RM-1200＞RM-1100/予備＞本体」という優先順位の設定をしている場合は、コネクター付きケーブルの片方をプリント基板上の CN108 に接続してください。優先レベルの設定については、P. 30「システムの設定について」をお読みください。

4-2 作業終了後、天板と端子台ユニットを元どおりに取り付ける。



5 DB-014に付属のコネクター付きケーブル (SM-SM、2.3 m) を使って、各パネル間を接続する。

コネクター付きケーブル (SM-SM、10P、2.3 m、最大4本使用、DB-014に付属)



設定内容記録表

● グループ、一斉放送

設定内容記録表			緊急 設定	スピーカ－選択スイッチ																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
● グループ、一斉放送																							
タイマー（一斉）																							
本体 グループ	一 斉 放 送																						
	1		/																				
	2		/																				
	3		/																				
	4		/																				
	5		/																				
	6		/																				
	7		/																				
	8		/																				
	9		/																				
	10		/																				
リモコン ／予備・ グループ （RM1100）	一 斉 放 送																						
	1		/																				
	2		/																				
	3		/																				
	4		/																				
	5		/																				
	6		/																				
	7		/																				
	8		/																				
	9		/																				
	10		/																				
リモコン （RM1200） グループ	一 斉 放 送																						
	A1		/																				
	A2		/																				
	A3		/																				
	A4		/																				
	A5		/																				
	A6		/																				
	A7		/																				
	A8		/																				
	A9		/																				
	A0		/																				
	B1		/																				
	B2		/																				
	B3		/																				
	B4		/																				
	B5		/																				
	B6		/																				
	B7		/																				
	B8		/																				
	B9		/																				
	B0		/																				

スピーカ－選択スイッチ																													
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

タイマー（一斉）																													
本体グループ	一斉放送																												
	1																												
	2																												
	3																												
	4																												
	5																												
	6																												
	7																												
	8																												
	9																												
	10																												
リモコン／予備・グループ	一斉放送																												
	1																												
	2																												
	3																												
	4																												
	5																												
	6																												
	7																												
	8																												
	9																												
	10																												
リモコン（RM1200）グループ	一斉放送																												
	A1																												
	A2																												
	A3																												
	A4																												
	A5																												
	A6																												
	A7																												
	A8																												
	A9																												
	A0																												
	B1																												
	B2																												
	B3																												
	B4																												
	B5																												
	B6																												
	B7																												
	B8																												
	B9																												
	B0																												

● プリアンプ（PP-025C）制御

連動	非連動

● 優先順位

順位		
1	タイマー	タイマー
2	リモコン (RM-1200)	リモコン (RM-1200)
3	本体 (ラック)	リモコン (RM-1100) / 予備
4	リモコン (RM-1100) / 予備	本体 (ラック)

● 優先放送時の入力信号のカット

起動機器	カットなし	入力3カット	入力2、3カット
タイマー			
リモコン (RM-1200)			
本体 (ラック)			
リモコン (RM-1100) / 予備			

● リモコン (RM-1100) 間 (RM-1100の接続台数 台)

優先の種類	先着	個別*1	優先なし

*1 個別優先のときの優先順位

順位	設置場所
1	
2	
3	
4	
5	

● リモコン (RM-1200) 間 (RM-1200の接続台数 台)

優先の種類	先押	後押	個別*2	優先なし

*2 個別優先を選択したときは、RM-1200のアドレス No.の小さい順に優先度が高くなります。

順位	アドレス No.	設置場所
1	0	
2	1	
3	2	
4	3	



TOA インフォメーションセンター

商品や技術など、お問い合わせにお応えします。
受付時間 9:00 ~ 17:00 (日曜・祝日除く)

フリーダイヤル (無料電話)
TEL. 0120 - 108 - 117

〒665-0043 宝塚市高松町2番1号
TEL. (0797) 72-7567
FAX. (0797) 72-1090

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、取扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。